

# 年 報

—平成26年度—



*No. 4*

八戸市埋蔵文化財センター  
是川縄文館

# 目次

I. 沿革	1
II. 施設概要	
1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	2
(1) 施設の名称と位置 (2) 施設の概要 (3) 主要施設・面積 (4) 建設事業費	
2. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館 (八戸市縄文学習館)	2
(1) 施設の名称と位置 (2) 施設の概要 (3) 主要施設・面積 (4) 建設事業費 (5) 展示改修等事業費	
III. 教育普及	
1. 常設展示	3
(1) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 (2) 八戸市縄文学習館 (是川縄文館 分館)	
2. 企画展示	5
3. 教育普及の実績	6
4. 世界文化遺産登録へ向けた取り組み	11
5. 地域連携	11
6. 調査研究	12
(1) 共同研究 (2) 学芸員の研究業績	
7. 広報・情報発信	15
8. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	16
IV. 埋蔵文化財調査等	
1. 埋蔵文化財行政について	17
2. 発掘調査事業概要	17
3. 調査概要	19
(1) 田面木遺跡 第43地点 (2) 白蛇遺跡 第1地点 (3) 熊野堂遺跡 第2地点 (4) 根城跡岡前館 第60地点 (5) 根城跡岡前館 第62地点	
4. 発掘調査報告書	21
5. 普及啓発	22
(1) 平成26年度遺跡調査報告会 (2) 発掘調査現地説明会・見学会 (3) 企画展	
6. 史跡整備	23
(1) 一王寺(1)遺跡内容確認調査 (2) 是川縄文館草刈等委託	
7. 是川遺跡出土品保存修理事業	24
8. 埋蔵文化財保存活用事業	24
V. 管理運営概要	
1. 協議会	25
(1) 平成26年度是川縄文館運営協議会 (2) 史跡是川石器時代遺跡保存管理計画策定委員会 (3) 平成26年度是川縄文館懇談会	
2. 日記抄	26
3. 来館者利用状況	29
4. 八戸市内小中学校利用状況	30
5. 資料利用状況	30
(1) 映像資料 (2) 実物資料	
6. 資料収蔵	34
7. 予算概要	34
VI. 組織・関係団体	
1. 組織及び職員構成	35
2. 八戸縄文保存協会	35
3. 是川文化財愛護会	36
4. 是川縄文隊	36
5. 縄文是川ボランティア	36
利用案内	37



## I. 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成23年(2011)に開館した。是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年(1994)に開館した。平成23年(2011)5月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年(1957)：「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年(1961)：泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年(1962)：寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年(1963)：「考古館」完成(9月30日)。
- 昭和49年(1974)：「歴史民俗資料館」完成(3月30日)。
- 昭和50年(1975)：「歴史民俗資料館」開館(5月10日)。
- 平成5年(1993)：3月 「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。  
5月 建築予定地発掘調査実施(8月終了)・地質調査完了。 6月 映像展示ソフト製作委託実施。  
7月 建築実施設計完成。 8月 展示実施設計完成。
- 平成6年(1994)：3月 建築・設備・展示各工事完成。 6月 「縄文学習館」開館(6月24日、八戸市博物館分館)。
- 平成7年(1995)：是川遺跡文化学習ゾーンオープン(2月22日)。
- 平成9年(1997)：「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成15年(2003)：「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成16年(2004)：「是川縄文の里整備検討委員会」が(仮称)是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。史跡追加指定。
- 平成17年(2005)：(仮称)是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成18年(2006)：施設の機能にあわせ(仮称)是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成19年(2007)：実施設計を実施。
- 平成20年(2008)：造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成21年(2009)：建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成22年(2010)：展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成23年(2011)：4月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。  
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。  
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。中居遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定(総数963点)。  
7月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館(7月10日)。  
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。  
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催(7月10日～9月25日)。  
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催(7月17日)。  
8月 来館者1万人達成。  
10月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催(10月15日～11月13日)。
- 平成24年(2012)：7月 開館1周年行事開催(7月7日～7月24日)。来館者5万人達成。
- 平成25年(2013)：史跡追加指定(史跡総面積213,497㎡、遺跡全体の56.78%)。
- 平成26年(2014)：6月 来館者10万人達成。

## II. 施設概要

### 1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

#### (1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 ○住所：青森県八戸市大字是川字横山1

#### (2) 施設の概要

○構造：1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造

○敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡

○建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

#### (3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:2,408.19㎡ 2階:2,185.63㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	体験交流室	142.88	1F	館長室(応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06	器材庫	56.25	研究室		151.13	
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.44	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー	4.48			

○駐車場：普通車86台、大型バス6台、障がい者用3台 ○トイレ：2箇所（障害者用含む、職員用除く）

#### (4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439千円

○基本・実施設計：87,740千円 ○外構工事等：189,120千円 ○本棟工事等：1,628,434千円

○器材庫建築工事等：50,012千円 ○展示工事：287,133千円

### 2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

#### (1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館） ○住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

#### (2) 施設の概要

○構造：1階・2階鉄筋コンクリート造

○敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡

○建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設

○展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

#### (3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:519.940㎡ 2階:103.880㎡

階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)	階	室名	面積(㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

○駐車場：普通車8台 ○トイレ：1箇所（障がい者用含む）

#### (4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

○基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円

○展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

#### (5) 展示改修等事業費

○事業費：8,810千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発(株)

### Ⅲ. 教育普及

#### 1. 常設展示

##### (1) 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

常設展示は、直感的な手法で是川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行なう（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイメージジョン・シアターは、来館者には是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物

を多用に利用した暮らしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

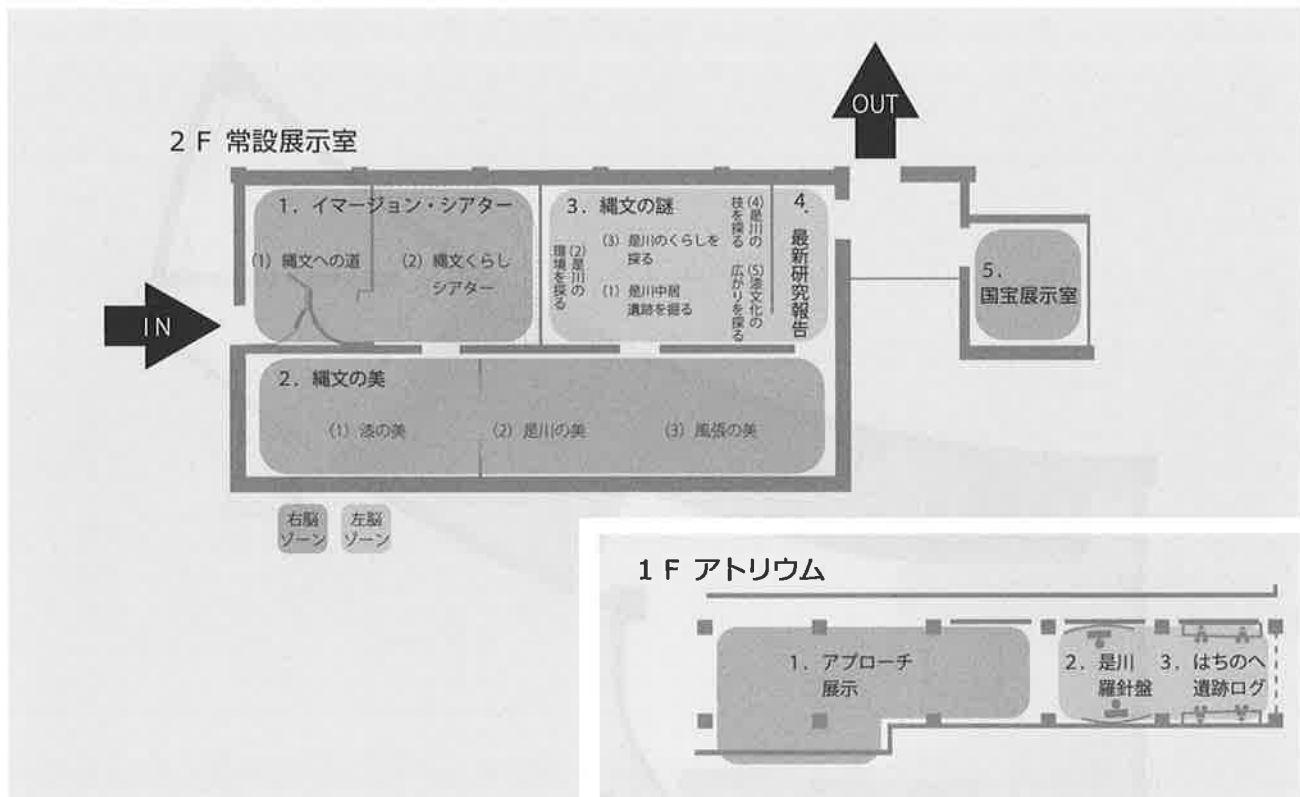
続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。平成26年度は、その第4回目として「遺物を守る -金属製品の保存処理」を実施した。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

常設展示品(平成26年度)  
考古資料のうち、国指定文化財が占める割合は8割を超える。

展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	53	51	2	—	—	—
是川の美	226	182	44	—	—	—
風張の美	203	203	—	—	—	—
縄文の謎	87	49	3	1	24	10
最新研究報告	19	—	6	13	—	—
国宝展示室	1	※国宝 1	—	—	—	—
計	589	486	55	14	24	10



展示構成

## (2) 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

### I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

### II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡（縄文時代前期～中期）、堀田遺跡（縄文時代中期）、中居遺跡（縄文時代晩期）について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

### III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。

### IV 埋蔵文化財センターの役割

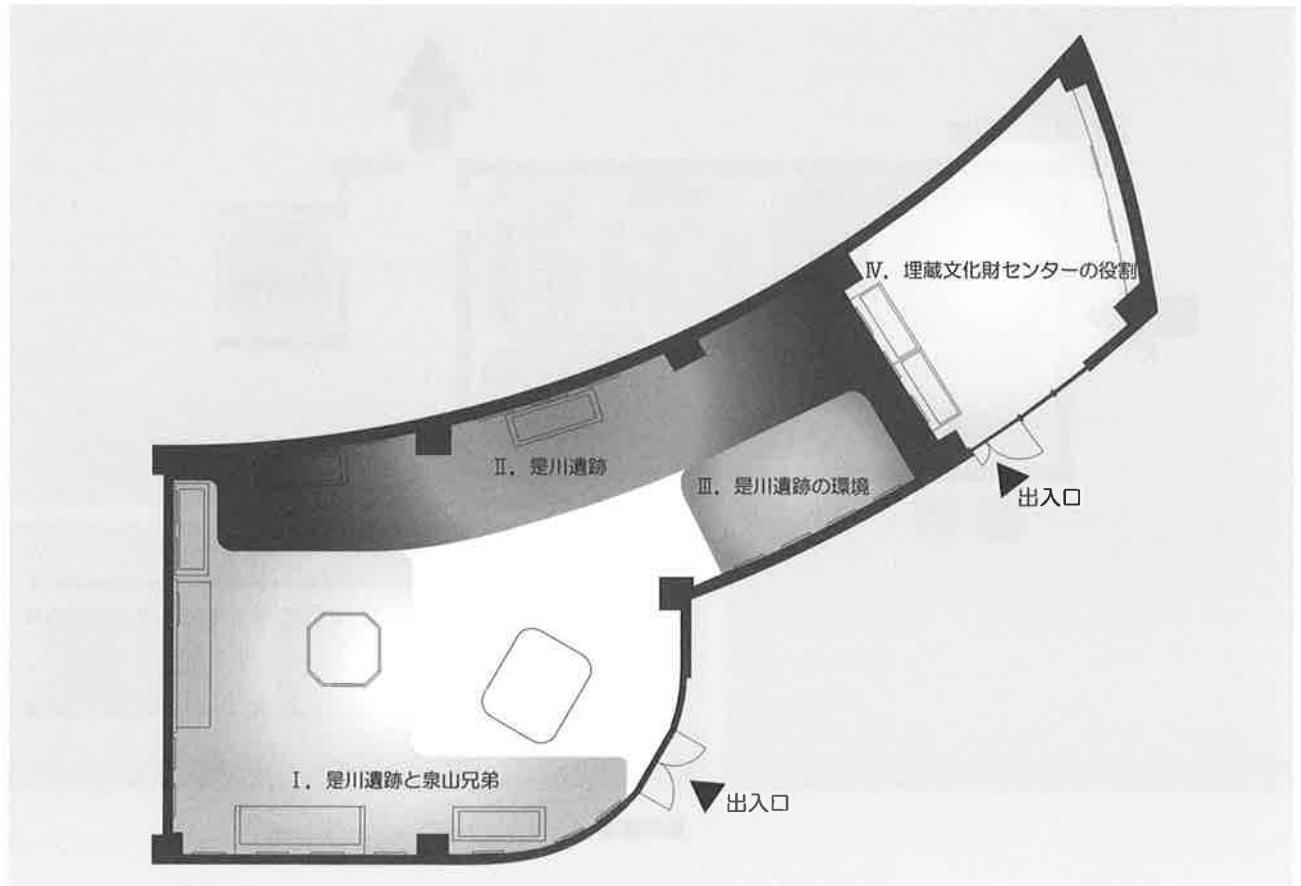
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。



常設展示室



IV 埋蔵文化財センターの役割



展示構成

## 2. 企画展示

平成26年度は、春季企画展「掘り day はちのへ」、特別展「トーテムポールの人びと」、秋季企画展「海と火山と縄文人」を開催した。併催行事として、ギャラリートーク及び特別展考古学講座・秋季企画展考古学講座を行った。

### 春季企画展「掘り day はちのへ —平成25年度発掘資料展—」

開催期間	4月26日(土)～6月22日(日) 52日間
観覧者数	3,630名(69.8人/日)
展示資料数	138点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 解説リーフレット(A3版)20,000枚 用語解説・展示品一覧(A3版)5,000枚 招待券670枚
主な展示品	縄文土器(一王寺(1)遺跡)、石器(一王寺(1)遺跡)、土師器(咽平遺跡・館平遺跡・田面木遺跡)、出羽型甕(田面木遺跡・おいらせ町中野平遺跡)、中国製青磁(新井田古館遺跡)、寄生虫卵プレパラート(八戸城跡)、蟹沢焼陶器(八戸城跡)
併催行事	ギャラリートーク 5/10、6/7 各日とも11:00～・14:00～



平成25年度に八戸市内で行われた、主要な発掘調査の成果および出土品を紹介した。開藩350周年を記念して小特集として「発掘でわかる八戸城」を行ったほか、調査を担当した学芸員によるギャラリートークを開催した。

### 特別展「トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～」

開催期間	8月1日(金)～9月15日(月) 42日間
観覧者数	5,364名(127.7人/日)
展示資料数	115点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚 招待券2,500枚 特別展図録(A4版68ページ)500部
主な展示品	トーテムポール、サケ流し釣り用釣針、石錘(北西海岸先住民・北海道開拓記念館)、木製魚叩き棒、蒸し曲げ木箱、ワタリガラス仮面、チルカット・ブランケット、儀礼用櫛(北西海岸先住民・北海道立北方民族博物館)、釣針、ヤス先、開筒式離頭銛(宮城県南境貝塚)、舟形容器、魚叩き棒(北海道石狩紅葉山49号遺跡)、トーテムポール様木製品(岩手県葦内遺跡)、鉤(林ノ前遺跡)、サケカギ(南郷・民俗資料)
併催行事	特別展ギャラリートーク 8/30 10:00～11:00、特別展考古学講座 8/30 14:00～16:00



北太平洋に広がるサケ・マス文化圏を横軸とし、北米の北西海岸先住民と縄文文化の資料を紹介し、縄文から現代に至る八戸のサケ漁を縦軸として展示紹介した。今回は、前期考古学講座を特別展のイベントとして位置付け、北方民族の文化や暮らし、民族学と考古学についての考古学講座を開催した。階段脇にトーテムポールを展示したほか、アトリウム柱や階段に特別展に合わせた館内装飾を実施し、特別展開催の雰囲気作りに努めた。展示室付近には北西海岸先住民のモチーフの塗り絵を用意し、好評であった。



秋季企画展「海と火山と縄文人―是川縄文館・東京大学共同研究展示―」

開催期間	10月11日(土)～11月24日(月) 39日間
観覧者数	3,168名(81.2人/日)
展示資料数	179点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 解説リーフレット(A3版)2,000枚 招待券800枚 企画展図録(A4版カラー49ページ)500部
主な展示品	縄文土器(長七谷地貝塚、冷水遺跡、畑内遺跡、松ヶ崎遺跡、 おいらせ町日ヶ久保貝塚、階上町白座遺跡、秋田県菖蒲崎貝塚)、 石器(館平遺跡、群馬県寺西貝塚、おいらせ町日ヶ久保貝塚、 秋田県菖蒲崎貝塚)、土偶(階上町白座遺跡)、骨角器(赤御堂 遺跡、長七谷地貝塚)、ナイフ形石器(田向冷水遺跡)、貝層断 面(群馬県寺西貝塚、秋田県菖蒲崎貝塚)、ポーリングコア
併催行事	企画展ギャラリートーク 11/8 10:00～11:00、企画展考古学講座 11/8 14:00～16:00



平成23年から3年かけて実施した、東京大学大学院新領域創成科学研究科環境史研究室との共同研究「古八戸湾変遷と集落生態系の復原」の成果を展示紹介した。八戸地域では、縄文時代早期後半には海面上昇がピークに達し、研究上知られる「古八戸湾」のほか「古奥入瀬湾」と「古新井田湾」があり、内陸まで海が入りこんでいたことを明らかにした。ハンズオン展示では採集した火山灰に触れるコーナーを用意し、好評であった。

### 3. 教育普及の実績

#### ○春季企画展ギャラリートーク

月日	内容	講師	参加者
5月10日(土)	企画展「掘りdayはちのへ」展示解説	村木 淳・船場 昌子・苧坪 祐樹(当館学芸員)	30人
6月7日(土)		横山 寛剛・田中 美穂・西村 広経(当館学芸員)	30人
合計			60人

#### ○是川縄文館考古学講座 前期「北方民族の世界」

月日	内容	講師	参加者
5月17日(土)	北太平洋沿岸諸民族における狩猟と漁労 -とくに海洋資源の使用について-	渡部 裕氏 (北海道立北方民族博物館 学芸員)	47人
6月21日(土)	北アメリカ18000年(?)歴史物語 -文化人類学者が語る考古学	スチュアート・ヘンリー氏 (放送大学 客員教授)	71人
7月12日(土)	クイーン・シャーロット諸島の民族考古学的 調査-北米北西海岸ハイダ族の世界と環境-	佐藤 宏之氏 (東京大学大学院人文社会系研究科 教授)	53人
合計			171人

#### ○これかわ考古学クラブ

月日	内容	講師	参加者
7月26日(土)	考古学ってどんなことするの?	市川 健夫(当館学芸員)	0人
7月27日(日)	是川遺跡を学ぼう	市川 健夫(当館学芸員)	0人
8月2日(土)	是川縄文館の常設展示を学ぼう	市川 健夫(当館学芸員)	0人
8月3日(日)	縄文人のものづくりを体験してみよう①	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	0人
8月9日(土)	縄文人のものづくりを体験してみよう②	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	0人
8月10日(日)	縄文人のものづくりを体験してみよう③	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	2人
合計			2人

○ ボランティア養成講座（5月-7月）

月 日	内 容	講 師	参加者
5月31日(土)	縄文是川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	13 人
6月 6日(金)	是川遺跡について	市川 健夫(当館学芸員)	19 人
6月 7日(土)	是川縄文館常設展示解説①	市川 健夫(当館学芸員)	19 人
6月13日(金)	是川縄文館常設展示解説②	市川 健夫(当館学芸員)	15 人
6月14日(土)	縄文土器作り教室参加	宇部 則保(当館副参事) 縄文是川ボランティア	18 人
	縄文学習館展示解説	市川 健夫(当館学芸員)	18 人
6月21日(土)	縄文土偶作り実習	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	13 人
6月25日(水)	是川遺跡のガイドについて	市川 健夫(当館学芸員)	10 人
6月27日(金)	博物館研修	市川 健夫(当館学芸員)	20 人
6月28日(土)	縄文土器野焼き実習	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	18 人
	来館者対応について	市川 健夫(当館学芸員)	22 人
7月 5日(土)	合掌土偶作り教室参加	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	14 人
合 計			199 人

○ 特別展ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
8月30日(土)	特別展「トーテムポールの人びと」展示解説	齋藤 玲子氏 (国立民族学博物館 助教)	44 人
合 計			44 人

○ 特別展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
8月30日(土)	サケがつなぐ北太平洋の文化 -北西海岸先住民とアイヌ文化-	齋藤 玲子氏 (国立民族学博物館 助教)	68 人
合 計			68 人

○ 縄文の布を編む講座

月 日	内 容	講 師	参加者
9月 6日(土)	解説「縄文の布について」	市川 健夫(当館学芸員)	6 人
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合 計			6 人

○ 縄文土器作り講座

月 日	内 容	講 師	参加者
10月11日(土)	素地土作り	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	14 人
10月18日(土)	縄文土器作り		11 人
11月22日(土)	縄文土器野焼き		22 人
合 計			47 人

○ 秋季企画展ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
11月 8日(土)	企画展「海と火山と縄文人」展示解説	辻 誠一郎氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	49 人
合 計			49 人

○ 企画展考古学講座

月 日	内 容	講 師	参加者
11月 8日(土)	海と火山と縄文人	辻 誠一郎氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)	116 人
合 計			116 人

○ 平成 26 年度遺跡発掘調査報告会

月 日	内 容	講 師	参加者
11月15日(土)	白蛇遺跡 田面木遺跡 熊野堂遺跡 一王寺(1)遺跡	西村 広経(当館学芸員) 田中 美穂(当館学芸員) 苧坪 祐樹(当館学芸員) 横山 寛剛(当館学芸員)	80 人
合 計			80 人

○ 是川縄文館考古学講座 後期「北東アジア・オセアニアの考古学」

月 日	内 容	講 師	参加者
12月6日(土)	ニューギニア島の新石器文化について	根岸 洋氏 (国際教養大学 地域環境研究センター 助教)	33 人
1月10日(土)	縄文時代の栄枯盛衰と中国文明の誕生	佐川 正敏氏 (東北学院大学文学部 教授)	51 人
2月7日(土)	北東アジアから見た日本先史時代	梶原 洋氏 (東北福祉大学総合福祉学部 教授)	55 人
合 計			139 人

○ ボランティア養成講座 (1月-3月)

月 日	内 容	講 師	参加者
1月17日(土)	縄文是川ボランティアについて	市川 健夫(当館学芸員)	19 人
1月24日(土)	是川遺跡について	市川 健夫(当館学芸員)	24 人
1月31日(土)	是川縄文館常設展示室解説①	市川 健夫(当館学芸員)	20 人
2月7日(土)	是川縄文館常設展示室解説②	市川 健夫(当館学芸員)	30 人
2月14日(土)	博物館・美術館等における ボランティア活動のあり方	栗村 知弘氏 (八戸縄文保存協会会長)	29 人
2月21日(土)	縄文学習館展示解説	市川 健夫(当館学芸員)	24 人
2月28日(土)	縄文土偶作り実習	縄文是川ボランティア 市川 健夫(当館学芸員)	18 人
3月7日(土)	陶器作り実習①	後村 弘樹氏(陶芸家)	10 人
3月14日(土)	陶器作り実習②	後村 弘樹氏(陶芸家)	16 人
3月21日(土)	縄文土器作り実習	縄文是川ボランティア 市川 健夫(当館学芸員)	14 人
3月27日(金)	博物館研修(岩手県花巻市)	市川 健夫(当館学芸員)	23 人
3月28日(土)	【討論】縄文是川ボランティアの これからを考える	市川 健夫(当館学芸員) 縄文是川ボランティア	25 人
合 計			252 人

○ 日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
夏季前期: 4月6日(日)～7月13日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	307 人
夏季後期: 8月31日(日)～10月26日(日)		116 人
冬 季: 11月2日(日)～3月29日(日)		153 人
合 計		576 人

○ 夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
7月19日(土)～8月17日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	423 人
合 計		423 人

○ これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

月 日	内 容	参加者
8月24日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	234 人
合 計		234 人

○ 土曜日体験教室

月 日	内 容	講 師	参加者
4月19日(土)	縄文の布を編む教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	7人
5月10日(土)	シカの角でペンダント作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	5人
6月14日(土)	縄文土器作り教室	宇部 則保(当館副参事)・縄文是川ボランティア	18人
7月5日(土)	合掌土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	21人
9月20日(土)	シカの角で釣針作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	3人
10月25日(土)	トチの実を食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	24人
11月29日(土)	ドングリを食べる教室(於分館)	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	34人
12月20日(土)	縄文土器の拓本教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	8人
1月10日(土)	滑石でペンダント作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	10人
2月21日(土)	縄文土器作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	10人
3月14日(土)	縄文土偶作り教室	市川 健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	13人
合 計			153人

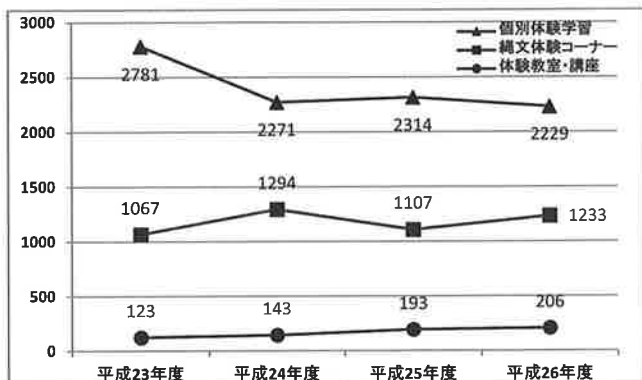
○ 学芸員による講座等

月 日	内 容	団体・場所	参加者
5月23日(金)	講話「ふるさとの教育」(初任者研修)	八戸市総合教育センター(於:同センター)	24人
5月28日(水)	講話「八戸検定について」	ふるさと味倶楽部(於:是川縄文館)	13人
5月30日(金)	講話「南郷の歴史・民俗等について」	鷗盟大学38期生(於:是川縄文館)	15人
5月31日(土)	講話「是川縄文人の技術」	NHK八戸旧友会(於:是川縄文館)	10人
6月4日(水)	講義「是川中居遺跡の調査」	八戸工業大学第二高等学校2学年(於:同学校)	44人
6月19日(木)	講話「市内の義経伝説について」	浜通り高齢者教室(於:鯨公民館)	60人
7月16日(水)	講演「縄文是川ボランティアの活動とその養成」	平成26年度生涯学習・社会教育関係職員研修講座 (於:青森県総合社会教育センター)	25人
7月23日(水)	講話「八戸検定-歴史を中心に-」	ふるさと味倶楽部(於:是川縄文館)	10人
7月30日(水)	講演「八戸藩と南部藩」	八戸市(於:八戸グランドホテル)	350人
8月27日(水)	講話「八戸藩の時代」	ふるさと味倶楽部(於:是川縄文館)	11人
9月12日(金)	講話「縄文時代と是川縄文館」	鷗盟大学1学年(於:是川縄文館)	54人
10月3日(金)	講話「是川遺跡の発掘と縄文館」	青森県退職校長会第2回理事会(於:八戸プラザホテル)	40人
10月5日(日)	講話「根城と新田城・新井田古館遺跡 ～根城南部氏と新田氏～」	南部学研究会(於:南部町楽々ホール)	299人
10月12日(日)	南郷フォトレッキングガイド	八戸市観光課(於:南郷区島守)	20人
10月22日(水)	講話「海と火山と縄文人」	八戸自由大学(於:是川縄文館)	5人
10月25日(土)	講演「史跡是川石器時代遺跡」	平成26年度縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム (於:八戸市美術館)	30人
10月29日(水)	講話「八戸の歴史と観光について①」	ふるさと味倶楽部(於:是川縄文館)	9人
10月30日(木)	ひらないかレッジ・すこやかコースウォーキング	平内町生涯学習課(於:南郷区世増ダム)	65人
10月31日(金)	ひらないかレッジ・すこやかコースウォーキング	平内町生涯学習課(於:南郷区世増ダム)	38人
11月24日(月)	講演「縄文人の交流」	ポータルミュージアム(はっち「まなび舎」)(於:同ミュージアム)	30人
11月26日(水)	講話「八戸の歴史と観光について②」	ふるさと味倶楽部(於:是川縄文館)	13人
12月6日(土)	講話「市内観光と歴史」	平成26年度種差海岸ガイド研修会(於:南浜公民館)	40人
12月13日(土)	発表「一王寺(1)遺跡」・「白蛇遺跡」	平成26年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会 (於:青森県総合社会福祉センター)	208人
12月20日(土)	講演「是川石器時代遺跡と丘珠縄文遺跡 ～遺跡公園の整備に向けて～」	札幌市埋蔵文化財センター(於:札幌市中央図書館)	140人
12月21日(日)	発表「八戸地域の縄文後期集落」 「八戸地域の縄文晩期集落」 「八戸地域の弥生時代の集落」	公開研究会「『八戸の集落一万年』 -なぜムラがで、消えたか?-Vol.2」(於:是川縄文館) ※主催:東北芸術工科大学	59人
1月21日(水)	講演「最近の八戸歴史トピックス」	八戸商工会議所理材部会(於:八戸グランドホテル)	70人
2月4日(水)	講演「縄文館の事業について」	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 (於:是川縄文館)	14人
3月1日(日)	講演「中世の新井田」	根城史跡ボランティアガイド自主研修(於:八戸市博物館)	24人
3月14日(土)	講演「縄文遺跡の保存活用の 現状と地域振興の役割」	弘前縄文の会(於:弘前市文化センター)	90人
合 計			1,810人

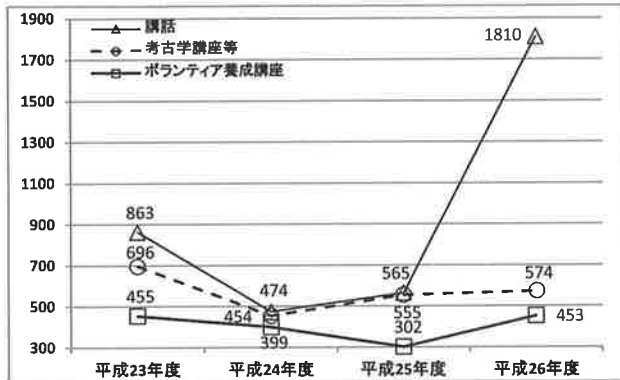
○ ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち、実際の体験参加者数を記載する。

月 日	内 容	団 体 名	参 加 者	月 日	内 容	団 体 名	参 加 者
4月9日	滑石の勾玉作り	株式会社アドヴァン企画	4人	8月20日	縄文土器作り	糠塚老人クラブ百働会 (於:糠塚集会所)	15人
4月17日	縄文の布を編む	田代中学校全学年	10人	8月21日	滑石の勾玉作り 火起こし	個人	2人
4月19日	火起こし	きくよしスクール	12人	8月23日	滑石の勾玉作り	南部町立福地小学校6年親子レク	27人
4月23日	滑石の勾玉作り	階上町立赤保内小学校6年	42人	9月4日	縄文土器作り	是川小学校5年	38人
4月26日	滑石の勾玉作り	サポートセンターあさひ	20人	9月5日	滑石の勾玉作り	五戸町立五戸小学校6年	73人
4月27日	縄文土器作り	沢里二ツ家老人クラブすみれ会 ほのぼのクラブ(於二ツ家集会場)	28人	9月10日	滑石の勾玉作り	多賀小学校6年	22人
4月28日	縄文土器作り	旭ヶ丘小学校6年	60人	〃	滑石の勾玉作り	轟木小学校6年	16人
5月1日	縄文土器作り	五戸町立倉石小学校6年	23人	9月18日	ペンダント作り	是川小学校1年	33人
〃	滑石の勾玉作り	白銀南小学校6年	85人	9月19日	縄文土器作り	是川小学校3年	38人
5月2日	縄文土器作り	吹上小学校6年	86人	〃	縄文土器作り	是川東小学校3年・5年	3人
5月8日	琥珀の勾玉作り	個人	3人	9月25日	縄文土器作り	是川小学校2年	45人
〃	縄文土器作り	個人	3人	〃	縄文土器作り	是川東小学校1・2年	2人
5月9日	縄文土器作り	中居林小学校6年	63人	〃	縄文土器作り	是川小学校4年	32人
5月10日	縄文土器作り	個人	1人	〃	縄文土器作り	是川東小学校4年	2人
5月15日	縄文土器作り	個人	4人	9月26日	土製耳飾り作り	根城小学校6年	91人
5月16日	滑石の勾玉作り	南部町立福地中学校1年	54人	10月4日	縄文土器作り	南部町立福田小学校5年親子レク	38人
〃	滑石の勾玉作り	フェリーチェ	7人	10月8日	縄文土器作り	三沢市ソラーズ小学校6年	26人
5月23日	ミニ合掌土器作り	総合教育センター初任者研修 (於:総合教育センター)	24人	10月9日	縄文土器作り	三沢市ソラーズ小学校6年	29人
5月28日	滑石の勾玉作り	野ばら町内女性部	20人	10月10日	ミニ合掌土器作り	中野小学校4年	17人
5月29日	ミニ合掌土器作り	南部町立剣吉小学校6年	26人	〃	火起こし	下長中学校1年	7人
〃	縄文土器作り	ちょうじゃの森 (於:白山台公民館)	8人	10月13日	縄文土器作り	個人	2人
5月30日	縄文土器作り	三沢市連合婦人会	23人	10月16日	縄文土器作り	三沢市ソラーズ小学校6年	31人
6月2日	滑石の勾玉作り	おいらせ町立百石小学校6年	74人	10月28日	縄文土器作り	多賀台小学校6年親子レク (於:多賀台小学校)	51人
6月3日	縄文土器作り	新郷村立戸来小学校6年	10人	11月1日	縄文土器作り	個人	5人
7月7日	縄文土器作り	是川小学校6年	46人	11月9日	縄文土器作り 滑石の勾玉作り	有限会社阿部悦三商店	9人
〃	縄文土器作り	是川東小学校1・2年	3人	〃	火起こし	吹上おやじの会	12人
7月11日	縄文土器作り	城下2丁目あすなろ会 (於:城下公民館)	17人	11月11日	ペンダント作り	城下小学校6年親子レク	50人
〃	火起こし	高館幼稚園	91人	11月14日	縄文土器野焼き	是川中学校(於:是川中学校)	167人
7月17日	火起こし	八戸第二養護学校中学部2年	20人	11月18日	滑石の勾玉作り 火起こし	町畑小学校6年親子レク (於:町畑小学校)	75人
7月18日	火起こし	わらび苑	3人	11月30日	滑石の勾玉作り	八戸学院野辺地西高等学校PTA	17人
7月19日	縄文土器作り 土製耳飾り作り	東中居林町内会	19人	12月2日	火起こし	桔梗野小学校5年	11人
7月23日	火起こし ペンダント作り	三条なかよしクラブ	54人	12月9日	滑石の勾玉作り	個人	2人
〃	ペンダント作り	白銀児童館(於:白銀児童館)	40人	12月13日	滑石の勾玉作り	きくよしスクール	16人
7月24日	縄文土器作り	東北町立上北小学校PTA研修会	19人	2月15日	火起こし	江陽小学校6年	3人
7月29日	琥珀の勾玉作り	七戸町教育委員会ふるさと 学びあい推進事業実行委員会	11人	2月17日	えんぶり火起こし	江陽小学校6年(於:八戸市庁)	3人
7月30日	滑石の勾玉作り 火起こし	五戸町切谷内子ども会	28人	3月2日	火起こし 縄文土器作り	松館小学校1・2・5・6年	10人
8月3日	滑石の勾玉作り	札幌ジャンプスポーツ少年団	9人	3月19日	縄文土器作り	三沢市カミングス幼稚園	33人
8月10日	滑石の勾玉作り	増子内育成会	23人	3月24日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校1年	46人
8月12日	縄文土器作り	島守小学校6年親子レク	8人	3月26日	ペンダント作り	三沢市ソラーズ小学校1年	49人
総 計							2,229人

過去4年間の体験学習の利用者数推移  
 ※平成23年度縄文体験コーナーは7月から開始。



過去4年間の講演会等の利用者数推移  
 ※平成23年度は開館記念講演会等が含まれる。



#### 4. 世界文化遺産登録へ向けた取り組み

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指している。当市では、是川石器時代遺跡・長七谷地貝塚の2つが構成資産となっており、直近の機会での推薦書提出、登録を目指し、推薦書案についての検討作業のほか、保存管理体制の検討を行っている。世界文化遺産登録には市民の理解が不可欠であるため、縄文遺跡群の内容を紹介したパネル展を行い、PRに努めた。



八戸商業高校でのパネル展

##### 【縄文遺跡群パネル展】

- 開催期間 ①平成26年8月24日(日)  
 ②平成26年10月18日(土)～10月19日(日)
- 開催場所 ①是川縄文館分館(縄文学習館) ②青森県立八戸商業高校(八商バザー)
- 概要 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の概要説明、構成資産位置図、各構成資産の概要についてのA1版パネルを掲示した。②は、学生による縄文遺跡群についての自主研究の一環として協力した。

#### 5. 地域連携

##### 【八戸北高等学校スーパーサイエンスハイスクール】

八戸北高等学校は文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている。地学班では平成23年度から縄文土器の胎土分析を中心とした研究を進めており、これまでに第58回日本学生科学賞(青森県審査)最優秀賞等を受賞している。平成26年度は「八戸市一王寺遺跡から産出した縄文土器の胎土分析」に取り組んでいる。当館では継続的に資料提供・助言等を行っており、平成26年度は胎土分析サンプルとなる縄文土器破片20点を提供した。

##### 【是川縄文隊との連携】

是川縄文隊は、是川地域の宝である是川遺跡の保存、活用に寄与するとともに是川縄文館を核とした是川縄文の里の地域振興を図ることを目的に是川地区の中居町内会の有志により平成24年度に設立された。活動等についてはVI-4 是川縄文隊に記載している。

これまで、是川縄文館のPRのほか、地域振興の一環として、来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売するなど地域のPR活動を行っており、是川遺跡の情報発信や、来館される方々へのおもてなしの充実が図られている。

## 6. 調査研究

### (1) 共同研究

是川縄文館では、大学等の研究機関との共同研究を事業の1つとして掲げている。これは、共通のテーマを研究機関と連携して多角的に追究し、学術的に質の高い情報を企画展や講座等の場へ活用することを目的としたものである。

平成23年度(2011)から3ヵ年計画の第1期共同研究を開始し、東京大学大学院環境史研究室の辻誠一郎教授と協議を重ね、研究を推進してきた。

平成26年度は、第1期共同研究の成果について秋季企画展「海と火山と縄文人」にて公開活用を行い、総括論文を研究紀要第4号に掲載した。さらに、東京大学大学院環境史研究室と継続して第2期共同研究を開始した。



企画展ギャラリートークの様子

#### 【第1期共同研究】

八戸地域では、縄文遺跡を営んだ集団が周辺の自然環境とどのように関わり、適応していったのか、これまで環境史的な視点からの調査研究が進んでいないという課題があった。八戸地域の縄文貝塚の分布等から、当地域では縄文時代に「古八戸湾」という内湾が形成され、内海であったことが知られている。第1期共同研究では、古環境及び縄文遺跡の分析をもとに「古八戸湾」の形成・衰退過程、それに関わる当時の人間活動の復原を目指した。

- ・共同研究テーマ 『古八戸湾変遷と集落生態系の復原』
- ・研究期間 2014年4月～2015年3月
- ・研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館  
東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室 (代表 辻 誠一郎 教授)  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 (一木 絵理 学芸員)
- ・研究活動等
  - ①2014年4月19日～4月20日 企画展合同資料調査 (於秋田県由利本荘市本荘郷土資料館・菖蒲崎貝塚)
  - ②2014年5月25日 十和田火山灰露頭調査 (於五戸川流域)
  - ③2014年6月12日 企画展合同資料調査 (於慶應義塾大学文学部考古学研究室)
  - ④2014年8月2日 十和田火山灰露頭調査 (於五戸川流域)
  - ⑤2014年8月26日 秋季企画展図録読み合わせ・打合せ (於是川縄文館)
  - ⑥2014年10月7日～10月10日 秋季企画展設営作業 (於是川縄文館)
  - ⑦2014年10月11日 秋季企画展「海と火山と縄文人」開催 (～2014年11月24日まで)
  - ⑧2014年11月9日 共同研究打合せ (於是川縄文館、第1期共同研究の残課題の整理)
- ・関連活動
  - ・日本第四紀学会 2014年大会 シンポジウムⅡ「更新世・完新世の資源環境と人類」研究発表  
「八戸・上北地域における縄文海進期の古環境と人類活動」  
(一木絵理・松本優衣・辻誠一郎・杉山陽亮・村木淳・宇部則保・中村俊夫、9月6日・9月7日)
  - ・秋季企画展図録「海と火山と縄文人」刊行 (9月26日)
  - ・デーリー東北新聞記事「海と火山と縄文人⑤・⑥」(辻 誠一郎氏、10月7日・10月21日)
  - ・八戸自由大学 講話「海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究の成果-」(市川健夫、10月22日)
  - ・企画展ギャラリートーク・企画展考古学講座「海と火山と縄文人」開催 (辻 誠一郎氏、11月8日)
  - ・第107回縄文塾 in 東京「海と火山と縄文人」講演 (辻 誠一郎氏、12月6日、於東京大学)
  - ・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要第4号  
「八戸地域の縄文時代草創期～前期の環境変動と集落生態系」(第1期共同研究総括論文、辻誠一郎・一木絵理・松本優衣・安室一・市川健夫・宇部則保・村木淳・杉山陽亮・西村広経)

## 【第2期共同研究】

第1期共同研究では、縄文時代前半期の環境変動と集落生態系の復原をテーマとし、古八戸湾や十和田火山の巨大噴火を背景とする縄文人の生態系やその変化を明らかにした。その中で、縄文時代後半期の復原も追究し、八戸地域の通時的な環境史、生態系史を明らかにしていく必要性を、東京大学・是川縄文館とで認識を共有するに至った。そこで第2期共同研究では第1期の成果に続き、とくに植物資源の利用に重点を置きつつ、縄文時代後半期における環境変動と集落生態系の復原を目指し、総じて八戸地域の過去一万年間の環境変動と集落生態系について検討していく。

- ・共同研究テーマ 『八戸地域における縄文時代中期から晩期の環境変動と集落生態系の復原』
- ・研究期間 2014年4月～2015年3月（2014年～2016年度の3ヵ年計画の1年目）
- ・研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館  
東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室（代表 辻 誠一郎 教授）  
古代の森研究舎（吉川 昌伸 氏・吉川 純子 氏）  
株式会社 パレオ・ラボ（安 昭炫 氏）  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場（一木 絵理 学芸員）
- ・研究活動等
  - ①2014年5月26日 第1回共同研究打合せ（於是川縄文館、研究計画の協議）
  - ②2014年11月9日 第2回共同研究打合せ（於是川縄文館、研究計画の協議・秋季企画展視察）
  - ③2015年3月13日 第3回共同研究打合せ（於東京大学、研究計画の協議）

## 【東北芸術工科大学 研究プロジェクト事業協力】

八戸地域等をフィールドに、土地利用等の利活用形態や地域文化の継承といった集落の動態解明を目的として、考古学、歴史学、民俗学・人類学などの分野から研究が進められている。考古班では、八戸地域の集落一万年の動態解明のため、遺跡データベース構築等の研究活動を展開しており、当館では資料提供や集落研究について協力を行った。

- ・研究事業テーマ 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業  
「環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究」
- ・研究期間 2012年4月～2017年3月
- ・研究体制 東北芸術工科大学 東北文化研究センター（代表 田口 洋美 所長）  
（考古班）東北文化研究センター 安斎 正人教授  
東北芸術工科大学 北野 博司 教授・長井 謙治 専任講師  
東京大学大学院 佐藤 宏之 教授・福田 正宏 准教授  
（公財）山形県埋蔵文化財センター 小林 圭一 調査研究専門員
- ・協力活動

### 【研究会・打合せ等】

- 2014年6月14日～6月15日 『第1回研究集会 集落遺構の認定について：墓・住居・貯蔵穴・陥穴』 於是川縄文館  
発表「遺構認定の問題点」（村木 淳 当館副参事）  
発表「八戸市内における陥し穴状遺構の事例集成」（横山 寛剛 当館学芸員）
- 2014年12月20日 『第2回研究集会 集落の継続・断絶を考える』 於是川縄文館
- 2015年3月5日 『環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 平成26年度研究成果報告書』  
「八戸市内における陥し穴状遺構の事例集成」（横山 寛剛 当館学芸員）

### 【公開研究会開催】

- 2014年12月21日 『公開研究会 八戸の集落一万年 八戸の縄文集落変遷 -なぜムラができ、消えたか？ Vol. 2-』 於是川縄文館  
報告「八戸地域の縄文後期集落：風張から是川へ」（村木 淳 当館副参事）  
報告「八戸地域の縄文晩期集落：是川を中心に」（市川 健夫 当館学芸員）  
報告「八戸地域の弥生時代の集落」（杉山 陽亮 当館学芸員）



### 【弘前大学 研究プロジェクトへの資料提供】

弘前大学人文学部附属亀ヶ岡研究センター（現 弘前大学北日本考古学研究センター）では、地域の歴史遺産から過去の環境変化に適応してきた人類の食料獲得戦略を解明し、これからの環境激変に対する適応モデルを構築することを目的に、歴史学・農学・地質学・地理学・保存科学・植物遺伝学等の分野横断的な研究プロジェクトが行われている。

その一環として、漆製品等の保存科学的研究が進められており、当館で資料提供を行った。また、その調査成果について平成 27 年度是川縄文館特別展「漆と縄文人」での公開を打診し、内諾を得た。

・研究事業テーマ 文部科学省特別研究

「冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト」

- ・協力活動 2014年5月22日～10月16日 中居遺跡出土品・風張1遺跡出土品 資料提供  
2015年3月16日～3月18日 蛍光X線による出土品の顔料成分分析調査（於是川縄文館）



弘前大学による蛍光X線分析の調査

### 【近畿大学大学院総合理工学研究科環境生物学研究室への資料提供】

近畿大学環境生物学研究室（南武志教授）では、考古遺物に付着する朱を対象に、硫黄同位体比分析による朱の産地推定の研究が進められている。是川縄文館では、平成 27 年度是川縄文館特別展「漆と縄文人」開催に向け、中居遺跡出土品を対象とした分析調査と、特別展での研究成果公開を打診し、内諾を得て資料提供を行った。

・協力活動 2015年3月25日 出土品の蛍光X線分析及び硫黄同位体比分析試料の採取（於是川縄文館）

## (2)学芸員の研究業績：平成 26 年4月～平成 27 年3月

### 【論文等】

平成26年4月

市川健夫 「【書評】福田友之著「津軽海峡域の先史文化研究」『六一書房HP』

平成26年5月

[http://www.book61.co.jp/book\\_review.php/71](http://www.book61.co.jp/book_review.php/71)

市川健夫 「縄文時代 東北」『考古学ジャーナル』656 ニューサイエンス社

市川健夫 「2014年縄文時代関係文献目録」『縄文時代』26 縄文時代文化研究会（分担協力）

平成26年7月

宇部則保 「糠部沿岸の7～8世紀の土器と集落」『岩手考古学会 第46回研究大会 資料集』

平成26年9月

宇部則保、村木 淳、杉山陽亮

「八戸・上北地域における縄文海進期の古環境と人類活動」『日本第四紀学会講演要旨集』（連名）

平成26年10月

宇部則保、大野 亨

「下北・上北・三八地区」『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた北東北世界の実態的研究』2011～2013年度明治大学大久保忠和考古学振興基金奨励研究成果報告書（連名）

田中美穂 「二戸・九戸・閉伊地区」同上

船場昌子 「根城と新田城・新井田古館遺跡-根城南部氏と新田氏-」『第2回南部学研究会 資料集』

平成 26 年 11 月

小久保拓也 「博物館展示のいま 39 縄文の美と謎を探る」『歴博』187 国立歴史民俗博物館

横山寛剛 「一王寺(1)遺跡の調査概報」『平成 26 年度青森県考古学会秋季大会 資料集 あおもりの貝塚を掘る』

平成27年1月

村木 淳 「二つの土偶の物語-風張1遺跡の合掌・頬杖土偶-」『東北学 特集縄文の至宝』東北文化研究センター

平成27年2月

宇部則保 「第三章 古代」『新編 八戸市史通史編I』八戸市

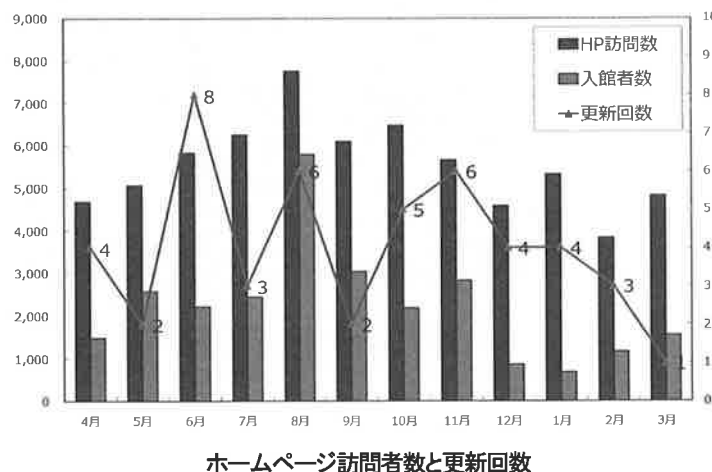
- 村木 淳 「第二章 原始」 同上 (連名)  
 市川健夫 「【書評】青森県史編さん考古部会編「青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期」」 『地方史研究』 373  
 平成27年3月  
 宇部則保、村木 淳、杉山陽亮、市川健夫、西村広経  
 「八戸地域の縄文時代草創期～前期の環境変動と集落生態系」 『研究紀要』 4 当館 (連名)  
 西村広経 「東関東における縄文時代後・晩期の竪穴住居儀礼」 『東京大学考古学研究室研究紀要』 29  
 西村広経 「八戸市黄檗遺跡出土の縄文草創期土器 (再報告)」 『日本列島北辺域における新石器/縄文化のプロセスに関する考古学的研究: 湧別市川遺跡の研究』 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻・東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設  
 横山寛剛 「八戸市内における陥し穴状遺構の事例集成」 『環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 平成26年度研究成果報告書』 東北芸術工科大学東北文化研究センター
- 【学会発表等】**  
 平成26年6月  
 村木 淳 「遺構認定の問題点」 『東北芸術工科大学東北文化研究センター第1回研究集会』  
 横山寛剛 「八戸市内における陥し穴状遺構の事例集成」 同上  
 平成26年7月  
 宇部則保 「糠部沿岸の7～8世紀の土器と集落」 『岩手考古学会 第46回研究大会』  
 平成26年9月  
 宇部則保、村木 淳、杉山陽亮  
 「八戸・上北地域における縄文海進期の古環境と人類活動」 『日本第四紀学会2014年大会』 (連名)  
 平成26年10月  
 船場昌子 「根城と新田城・新井田古館遺跡 -根城南部氏と新田氏-」 『第2回南部学研究会』 (ポスター発表)  
 平成26年11月  
 横山寛剛 「一王寺(1)遺跡の調査概報」 『平成26年度青森県考古学会秋季大会 あおもりの貝塚を掘る』  
 平成26年12月  
 村木 淳 「八戸地域の縄文後期集落: 風張からは川へ」 『公開研究会 八戸の縄文集落一万年 vol.2-』  
 杉山陽亮 「八戸地域の弥生時代の集落」 同上  
 市川健夫 「八戸地域の縄文晩期集落: 是川を中心に」 同上

## 7. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

### ① ホームページ

インターネットによる広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできる



年月	HP訪問数	入館者数	更新回数	平均(日)	英語版HP
4月	4,678	1,478	4	155.9	33
5月	5,065	2,574	2	163.4	34
6月	5,829	2,212	8	194.3	31
7月	6,251	2,439	3	201.6	52
8月	7,753	5,790	6	250.1	32
9月	6,096	3,035	2	203.2	48
10月	6,470	2,181	5	208.7	32
11月	5,657	2,828	6	188.6	59
12月	4,579	858	4	147.7	31
1月	5,324	676	4	171.7	31
2月	3,824	1,154	3	123.4	31
3月	4,817	1,544	1	155.4	82
合計	66,343	26,769	48	180.3	496

よう、CMSを使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より2,505回増え、1日あたりの平均訪問者数は180.3人（平成26年4月～平成27年3月まで）であった。

## ② 広報はちのへ「いのるん通信」

是川縄文館の体験学習等のイベントや発掘調査の活動について、参加者にインタビューし、内容を紹介する。市広報はちのへにおいて隔月（5・7・9・11・1・3月号）で連載している。97,800部発行。

## ③ 広告掲載

特別展及び秋季企画展開催を周知するため、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・特別展広告「トーテムポールの人びと」  
デーリー東北新聞社（7/16, 17, 31 朝刊）  
東奥日報社・岩手日報社・秋田魁新報社（7/18 朝刊）  
東奥日報社 情報羅針盤コンパス（7/3 発行）
- ・企画展開催案内広告「海と火山と縄文人」  
デーリー東北新聞社（10/18 朝刊）、  
東奥日報社（10/11 朝刊）、情報羅針盤コンパス（9/11 発行）

## ④ 新聞連載記事

企画展・特別展をテーマとした記事を開催期間に合わせてデーリー東北新聞社に掲載した。（春季企画展 4/21, 5/12, 6/2, 特別展 8/1, 秋季企画展 10/7, 10/21）

## ⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した（3ヶ月に1度）。

## ⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、特別展・企画展図録を刊行した。図録については、館内ミュージアムショップで頒布している。

- ・「掘り day はちのへ -八戸市埋蔵文化財ニュース-」17号  
A4版 カラー 8ページ
- ・平成26年度特別展図録「トーテムポールの人びと」A4版 カラー 74ページ
- ・平成26年度秋季企画展図録「海と火山と縄文人」A4版 カラー 54ページ
- ・「研究紀要 第4号」A4版 モノクロ 40ページ



新聞連載記事(秋季企画展)



特別展図録

## 8. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

### ①ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリ、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の図録等刊行物も販売している。

【商品一例】ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、土偶・土器等レプリカ、お菓子（クッキー、人形焼、せんべい等）、当館刊行物、考古学関連書籍等。

### ②喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や、縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミ、ナッツ、ドングリを合わせた「縄文ソフトクリーム」等を提供している。

「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。



ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

## IV. 埋蔵文化財調査等

### 1. 埋蔵文化財行政について

八戸市には、489箇所(遺跡)の周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、遺跡)が存在する。遺跡内で開発行為等を行う場合、文化財保護法93条(国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同94条)が適用され、事前に当市社会教育課と協議のうえ、工事着手の60日前までに遺跡内の工事に係る届出(通知)書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では遺跡の現状を確認し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘の結果、開発により遺跡が破壊されると判断した場合、発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

### 2. 発掘調査事業概要

平成26年度は、27遺跡及びその隣接地の計48件の発掘調査を実施した。内訳は試掘・確認調査42件、本発掘調査4件(試掘後の本調査を含む)で、その内、宅地造成に伴う調査が件数・面積共に大幅増となっている。調査数が最も多い遺跡は田面木遺跡の4件で、計1,369㎡の調査を実施した。調査原因の種別は、個人住宅建築15件、太陽光発電施設建設8件、市道改良(舗装)工事5件、店舗兼住宅1件、宅地造成・集合住宅8件、長芋・牛蒡作付けほか11件である。個人住宅建築に伴う発掘調査が減少し、太陽光発電施設建設に伴う試掘調査が増加した。なお当市では、大規模な掘削及び掘削深度がある長芋・牛蒡作付けは本調査対応としている。

また、今年度は2ヶ所の埋蔵文化財包蔵地の範囲を変更し、八戸市南郷区廃止に伴い旧南郷区の計207遺跡の住所変更を行った。

届出件数・調査面積

	平成25年	平成26年
届出件数	54	48
遺跡数	28	27
調査面積(㎡)	14,762.07	14,991.25

平成25・26年度調査原因内訳

調査原因	平成25年度		平成26年度	
	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)
個人住宅建築	26	1,304.92	15	294.75
太陽光発電施設建設	3	3,604.00	8	1,610.50
道路改良(舗装)工事	4	822.00	5	192.30
店舗兼住宅	2	78.00	1	25.00
宅地分譲・造成、集合住宅	4	3,431.50	8	5,308.50
その他	15	5,521.65	11	7,560.20
合計	54	14,762.07	48	14,991.25



平成26年度八戸市内  
発掘調査位置図

平成 26 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

No.	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(㎡)	主な時代
1	山内遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.7～4.8	15	縄文・平安・散布地
2	田面木遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備	H26.4.9	8	平安・集落跡
3	帽子屋敷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.11	24.5	縄文・貝塚
4	松ヶ崎遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備	H26.4.14～4.16	102	縄文・集落跡
5	市子林遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.17	0.8	縄文・古墳～近世・集落跡
6	田面木遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.17	21	平安・集落跡
7	八戸城跡第32地点	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.17	30	近世・城館
8	八戸城跡第33地点	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.17	30	近世・城館
9	八戸城跡①	試掘調査	個人住宅建築	H26.4.18	29	近世・城館
10	八戸城跡②	試掘調査	店舗兼住宅建築	H26.4.21、H27.1.27	25	近世・城館
11	松ヶ崎遺跡第18地点	試掘調査	道路改良工事	H26.4.25、4.28	43	縄文・集落跡
12	山内遺跡第4地点	試掘調査	宅地造成	H26.5.7～5.14	359	縄文・平安・散布地
13	新井田古館遺跡第30地点	試掘調査	太陽光発電設備	H26.5.9～5.14、6.25	132.5	中世・城館
14	松ヶ崎遺跡第19地点	試掘調査	事務所建設	H26.5.15	14.5	縄文・集落跡
15	市子林遺跡第20地点	試掘調査	宅地造成	H26.5.16	61	縄文・古墳～近世・集落跡
16	石橋遺跡	試掘調査	宅地造成	H26.5.19～5.20、6.30	112.5	平安・集落跡
17	田面木遺跡隣接地	試掘調査	太陽光発電設備	H26.5.20～5.23	240	縄文・弥生・奈良・平安・集落跡
18	新田遺跡	試掘調査	太陽光発電設備	H26.5.23～5.26	84	縄文・奈良・集落跡
19	咽平遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備	H26.5.26～5.29	240	縄文・奈良・平安・散布地
20	根城跡岡前館第60地点	試掘調査	宅地造成	H26.6.3～6.5	214	中世・城館
21	直渡(3)	試掘調査	太陽光発電設備	H26.6.11～6.19	149	平安・散布地
22	中居林遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.6.16	10	縄文・弥生・平安・集落跡
23	山内遺跡第5地点	試掘調査	宅地造成	H26.6.16～6.30	507	縄文・平安・散布地
24	山内遺跡②	試掘調査	宅地造成	H26.6.16～6.30	230	縄文・平安・散布地
25	稲荷後(3)遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.6.23	16.5	縄文・散布地
26	泉沢(1)遺跡	試掘調査	道路改良工事	H26.6.26	33	平安・散布地
27	咽平遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	H26.6.25	14	縄文・奈良・平安・散布地
28	浜道通遺跡	試掘調査	配水管改良工事	H26.8.4～8.5	11.2	縄文・散布地
29	一日市遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.7.31	4	平安・散布地
30	櫛引遺跡	試掘調査	道路改良工事	H26.8.11、8.19	28.8	縄文・奈良・平安・中近世・城館・集落跡
31	八幡遺跡第7地点	試掘調査	公民館建設	H26.9.30～10.1	102	縄文・弥生・奈良・平安・近世・集落跡
32	千石屋敷遺跡第8地点	工事立会	上水道管設置	H26.10.22、12.3～12.4	85	中世・集落跡
33	市子林遺跡②	試掘調査	倉庫建設	H26.11.4	4.5	縄文・集落跡
34	前川目遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.11.5	5	縄文・散布地
35	松ヶ崎遺跡②	試掘調査	道路改良工事	H26.11.17～11.18	37.5	縄文・集落跡
36	重地遺跡第6地点	試掘調査	長芋・牛蒡作付け	H26.12.3～12.4	170	縄文・集落跡
37	雷遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H26.12.9～12.10	18	縄文・平安・散布地
38	館平遺跡第28地点	試掘調査	児童館擁壁設置	H26.12.26、H27.1.6	14	縄文・平安・中世・集落・城館
39	咽平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H27.3.17	10	縄文・奈良・平安・散布地
40	根城跡岡前館第59地点	確認調査	個人住宅建築	H26.4.17～4.30	67	中世・城館
41	根城跡岡前館第61地点	確認調査	倉庫建設	H26.10.29～11.5	155	中世・城館
42	根城跡岡前館第62地点	確認調査	太陽光発電設備	H26.11.7～11.28	655	中世・城館
43	一王寺(1)遺跡	確認調査	内容確認	H26.8.1～10.30	600	縄文・集落跡
44	田面木遺跡第43地点	本調査	長芋・牛蒡作付け	H26.7.28～9.30	1,100	平安・集落跡
45	白蛇遺跡第1地点	本調査	寺院建築	H26.5.8～7.31	4,800	縄文・奈良・平安・散布地
46	松ヶ崎遺跡第18地点	本調査	道路改良工事	H26.6.2～6.6	50	縄文・集落跡
47	根城跡岡前館第60地点	本調査	宅地造成	H26.10.22～12.13	1,271	中世・城館
48	熊野堂遺跡第2地点	本調査	集合住宅建築	H26.7.1～10.31	2,554	縄文・奈良・平安・集落跡

### 3. 調査概要

#### (1) 田面木遺跡 第43地点 (p18 No.44)

1. 調査地：八戸市大字田面木字山道下夕 26-1・28-1・28-2・28-10
2. 担当職員：田中 美穂
3. 検出遺構：竪穴住居跡・竪穴遺構 21 棟・掘立柱建物跡 1 棟・土坑 5 基・焼土遺構 2 基・溝跡 1 条
4. 出土遺物：縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・石器・石製品・鉄製品・銭貨・動物遺存体
5. 調査概要：

奈良～平安時代の竪穴住居跡を検出した。主に平安時代を主体とする集落跡であり、出土土器の特徴から、9世紀後半から10世紀前半まで存続したと考えられる。今回の調査地点を含む遺跡の北西側には、主に平安時代の集落が広がることが予想される。また、鉄器製作が行われていたとみられる住居跡が見つかった。



調査区全景(東から)



竪穴住居跡炭化材検出状況(南から)

#### (2) 白蛇遺跡 第1地点 (p18 No.45)

1. 調査地：八戸市大字上野字白蛇 1-1・1-2
2. 担当職員：田中 美穂・西村 広経
3. 検出遺構：竪穴住居跡 8 棟・掘立柱建物跡 2 棟・溝跡 3 条・円形周溝 2 基・土坑 1 基・溝状土坑 7 基
4. 出土遺物：土師器・陶磁器・土製品・石器・鉄製品・銭貨
5. 調査概要：

飛鳥～奈良時代の集落跡であることが明らかになった。竪穴住居跡からは、ふいごの羽口や鉄滓等、鍛冶に関連する遺物が出土している。八戸地域の同時期の遺跡では、鍛冶に関連する遺物はほとんど出土しておらず、当地域における鉄利用の歴史を考える上で重要な資料となる。



調査区全景(南東から)



竪穴住居跡(南東から)

(3) 熊野堂遺跡 第2地点 (p18 No.48)

1. 調査地：八戸市長根二丁目 12-10
2. 担当職員：村木 淳・船場 昌子・苧坪 祐樹
3. 検出遺構：竪穴住居跡 97 棟・掘立柱建物跡 1 棟・土坑 271 基・炉跡 18 基・溝跡 12 条
4. 出土遺物：縄文土器・土師器・須恵器・石製品・土製品・鉄製品・人骨・獣骨等
5. 調査概要：

奈良～平安時代の竪穴住居跡を多数検出した。特に平安時代では、集落の一部に堀がめぐる「環濠集落」「防御性集落」といわれる大規模な集落だったことがわかっている。

今回の調査では、鎌や紡錘車といった鉄製の生活用具が多く出土したが、加えて鍛冶炉を検出したことで、集落内で鉄器製作を行っていたことが明らかとなった。



集落をめぐる堀跡

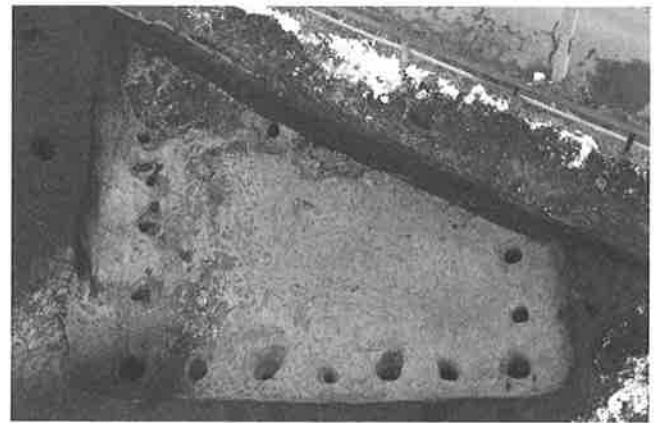
(4) 根城跡岡前館 第 60 地点 (p18 No.20・47)

1. 調査地：八戸市根城八丁目 10-163・164 地内
2. 担当職員：船場 昌子・苧坪 祐樹
3. 検出遺構：堀跡・柵列 2 条、掘立柱建物跡 13 棟、竪穴建物跡 3 棟、土坑墓 1 基、土坑 26 基、井戸跡 4 基、溝跡 7 条、不明遺構 8 基
4. 出土遺物：陶磁器・石製品・鉄製品・鉄滓・銅滓・銭貨・人骨
5. 調査概要：

今回の調査区は、根城跡岡前館の外縁をめぐる三番堀の南に位置する。本来は城館の外側にあたるが、検出した遺構からは根城南部氏が権勢を誇った「城郭期」の 15 世紀代・16 世紀代に帰属する遺物が多く出土した。調査区周辺に関わる記録や伝承は残っていないが、三番堀の外側に城館内と同時代の遺構が広がることが明らかとなった。



掘立柱建物跡



竪穴建物跡

(5) 根城跡岡前館 第62地点 (p18 No.42)

1. 調査地：八戸市根城八丁目 38-30 の一部・38-31
2. 担当職員：西村 広経
3. 検出遺構：竪穴住居跡3棟、土坑6基、溝跡4基、性格不明遺構、ピット
4. 出土遺物：土師器・陶磁器・銭貨
5. 調査概要：

本地点は、根城跡岡前館の北端に位置する。太陽光発電設備設置にともない、現状変更判断のための確認調査を実施した。調査の結果、古代とみられる竪穴住居跡や中近世の柱穴・溝跡等、多くの遺構を検出した。



調査1区全景



調査3区全景

4. 発掘調査報告書

平成26年度に実施された発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計3冊を年度末に刊行した。

平成26年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸市内遺跡発掘調査報告書32	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第149集	村木淳・船場昌子・横山寛剛・田中美穂・苧坪祐樹・西村広経	平成27年(2015)3月27日
	所収遺跡名：八戸城跡第32・33地点、松ヶ崎遺跡第18・19地点、山内遺跡第4・5地点、市子林遺跡第20地点、重地遺跡第6地点、新井田古館遺跡第30地点、館平遺跡第28地点、千石屋敷遺跡第8地点、八幡遺跡第7地点、根城跡岡前館第59・60・61・62地点、田面木遺跡第43地点				
2	白蛇遺跡	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第150集	船場昌子・西村広経	平成27年(2015)3月27日
	所収遺跡名：白蛇遺跡第1地点				
3	史跡根城跡発掘調査報告書XIV 岡前館第60地点	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第151集	船場昌子・苧坪祐樹	平成27年(2015)3月20日
	所収遺跡名：岡前館第60地点				



## 5. 普及啓発

### (1) 平成 26 年度遺跡調査報告会

平成 26 年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。1 階体験交流室を報告会場、2 階研修室を出土品展示会場とし、県内外から 80 名の参加があった。

開催日時：平成 26 年 11 月 15 日（土）13:00～

報告内容：

- 【報告遺跡】・白蛇遺跡（上野地区）飛鳥～奈良時代
- ・田面木遺跡（田面木地区）奈良～平安時代
- ・熊野堂遺跡（長根地区）奈良～平安時代
- ・一王寺(1) 遺跡（是川地区）縄文時代

- 【主な展示】・一王寺(1) 遺跡の貝層断面の剥ぎ取り
- ・熊野堂遺跡の竪穴住居跡から出土したほぼ全身の馬の骨(平安時代)等



報告の様子



出土品展示の様子

### (2) 発掘調査現地説明会・見学会

平成 26 年度に発掘調査を行った田面木地区の田面木遺跡の現地見学会、及び是川地区の一王寺(1) 遺跡の現地説明会を、近隣の住民を対象に実施した。

特に一王寺(1) 遺跡は国史跡「是川石器時代遺跡」の一つであり、昭和初期以来長らく場所が特定されていなかった貝塚を 85 年ぶりに確認し、県内外から 73 名の参加があった。

#### ① 田面木遺跡現地見学会

開催日時：平成 26 年 10 月 17 日（金）10:00～16:00

場 所：八戸市大字田面木字山道下タ 28-1 の一部・28-2 の一部

参加者数：55 名

#### ② 一王寺(1) 遺跡現地説明会

開催日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）10:00～、13:00～（2 回開催）

場 所：八戸市大字是川字中居 28-1・2

参加者数：73 名

### (3) 企画展

Ⅲ-2 を参照。



田面木遺跡現地見学会



一王寺(1)遺跡現地説明会

## 6. 史跡整備

### (1) 一王寺(1)遺跡内容確認調査(p18 No.43)

1. 調査地：八戸市大字是川字中居 28-1・2、  
八戸市大字是川字一王寺 2-3
2. 担当職員：横山 寛剛・西村 広経
3. 検出遺構：遺物包含層（捨て場）、旧調査坑2基
4. 出土遺物：縄文土器・土製品・石器・石製品・  
骨角器・動物遺存体
5. 調査概要：

縄文時代前期～中期の縄文土器・石器が多量に出土し、円筒土器文化期の遺物包含層が調査区全域に広がることを確認した。

また、不整形の攪乱坑2基を検出し、土層断面で下位に縄文時代前期の混貝土層を確認した。大正～昭和年間に調査された一王寺貝塚の所在場所を特定することができた。



不整形の攪乱坑(旧調査坑)2基を検出



不整形の攪乱坑で確認した縄文時代前期の貝層



貝層から出土した動物の骨や貝

### (2) 是川縄文館草刈等委託

期間 平成26年6月10日(火)～9月30日(火)

回数：4回

場所 史跡是川石器時代遺跡

(中居遺跡・一王寺(1)遺跡・堀田遺跡)

八戸市縄文学習館敷地内

是川遺跡記念碑

※草刈委託総面積：約47,700 m<sup>2</sup>

受託者 株式会社 昂造園建設

事業費 3,239千円

概要

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来や草の繁茂状況を鑑み、6月から9月にかけて実施した。



草刈の状況(一王寺(1)遺跡)

## 7. 是川遺跡出土品保存修理事業

内 容 縄文土器5点、漆製品（木胎漆器1点・樹皮製容器3点）、木製品（石斧柄1点・掘り棒1点）  
計11点の修理・台座製作

期 間 平成26年6月27日（金）～平成27年2月27日（金）

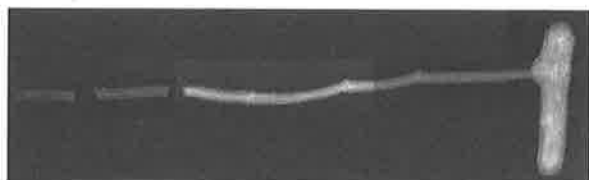
受 託 者 株式会社 芸匠（東京都）

事 業 費 5,357千円（補助対象額5,000千円の50%国庫補助）

概 要 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定された。この指定品の中には、木製品や漆塗り製品等があり、発掘調査後に保存処理が施されているが、欠損部分や脆弱な部分がある。また土器・石製品等には、石膏の充填や接合部の剥離等があり、公開活用をする上で美観が不十分なものもある。このため、出土品本来の姿を忠実に再現し、色彩も美観を損ねることがないように補修を行うとともに、脆弱な部分の強化と遺物にあわせた保存台を製作する。

事業計画 1期5か年計画を基本として、全2期で出土品の保存修理及び保存台製作を実施する。  
第1期は平成24年～28年度で実施する。

[石斧柄]



1. 修理前にX線写真で資料の状態を確認



3. 修理完成（3つの部品を接合）



2. 遺物の型をとって作った専用の台座



4. 台座に収めた状態

修理の状況(石斧柄)

## 8. 埋蔵文化財保存活用事業

収蔵資料の体系化を目的とし、国庫補助事業の採択を受けて収蔵品の再整理・再収納及びデータベース化を実施している。

内 容 牛ヶ沢(4)遺跡(1,396点)台帳作成  
泉山コレクション(遺物3,812点、写真原版15点)遺物再整理・再収納・写真撮影・台帳作成・写真原版修理・デジタルデータ化

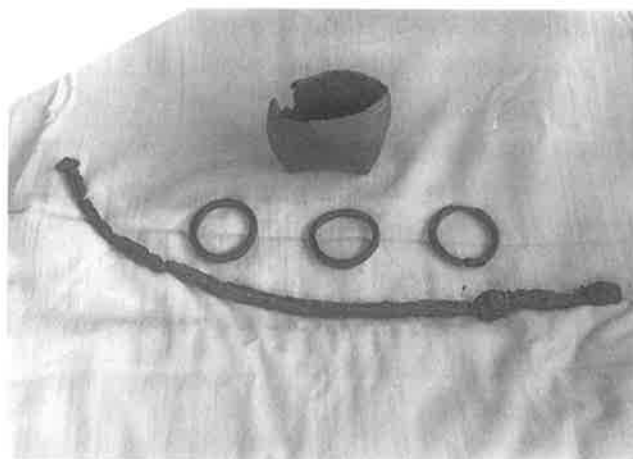
期 間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

事 業 費 5,430千円（補助対象額5,220千円の50%  
国庫補助）

概 要 平成26年度は、牛ヶ沢(4)遺跡出土品1,396点のデータベース化、泉山コレクションの遺物約3,812点の整理・データベース化を行った。

このほか、泉山コレクションの一部である、大正末期から昭和初期の是川遺跡の発掘状況が撮影されたガラス乾板のうち、ガラスに割れや欠け等の劣化が認められる15枚について保護処置とデジタル化を実施した。

事業計画 平成25年～29年度の5ヶ年で平成24年度までの収蔵資料の整理を行う。



ガラス乾板の写真

## V. 管理運営概要

### 1. 協議会

#### (1) 平成 26 年度是川縄文館運営協議会

期 日 【第1回】平成26年6月18日(水) 13:30～

【第2回】平成27年2月6日(金) 13:30～

会 場 是川縄文館 1F 会議室

委 員 岡村 道雄 委員 (会長) 石川 宏之 委員 (副会長)  
高田 和徳 委員 福田 友之 委員 山内 均 委員  
山下 治子 委員

概 要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・  
広報活動等の専門的見地から評価・助言を得るための協議  
会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。

第1回では、共同研究事業や教育普及事業の実施内容に  
関する質疑や関係団体との連携の深化について意見があった。第2回では、ボランティア養成等の教育普及  
事業の進め方について助言があったほか、埋蔵文化財調査に関する報告内容の拡充について意見があった。



運営協議会の様子

#### (2) 史跡是川石器時代遺跡保存管理計画策定委員会

期 日 平成26年11月25日(火) 13:30～

会 場 是川縄文館 1F 会議室

委 員 岡村 道雄 委員 (会長) 高田 和徳 委員 (副会長)  
福田 友之 委員 辻 誠一郎 委員 野沢 秀明 委員  
泉山 重寿 委員 古戸 良一 委員

概 要 平成26・27年度における史跡是川石器時代遺跡の保存管  
理計画策定を目的とし、有識者及び地権者・住民代表によ  
る検討を行う委員会。平成26年度は、委員の委嘱及び保存  
管理計画の概要及び骨子を事務局より説明し、盛り込むべ  
き内容や章立てについての検討が行われた。



委員会の様子

#### (3) 平成 26 年度是川縄文館懇談会

期 日 平成27年2月15日(日) 13:30～

会 場 是川縄文館 2F 研修室

出席者 中居町内会 田中町内会 是川地区振興会  
是川団地町内連合会 八戸縄文保存協会  
是川文化財愛護会 縄文是川ボランティア 是川縄文隊  
各団体代表者等2名 是川縄文館職員

概 要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営に  
ついて助言・連携等を得るための会合。

平成26年度の事業報告、平成27年度事業計画等の説明  
をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは体  
験学習等の教育普及事業に関する提案や、地元住民からのさらなる来館者増加の対策について意見があった。



懇談会の様子

## 2. 日記抄

年/月/日	事項	年/月/日	事項
H26/4/1	見学:三八五流通株式会社(4人)	5/31	縄文土器作り・見学:おいらせ町立下田小学校4年(30人)
4/5	縄文土器野焼き:於分館(19人)		講話・見学:NHK八戸旧友会(10人)講師:当館副参事
4/6	見学:青森県立三沢高等学校教員(1人)		見学:宮城県農業大学校(32人)/高館幼稚園(4人)/ 在宅ケアセンターちよじの森(8人)/おいらせ町立百石小学校(1人)
4/7	見学:八戸市新採用職員研修(51人)	6/2	滑石の勾玉作り・見学:おいらせ町立百石小学校6年(75人)
4/9	滑石の勾玉作り・見学:株式会社アドヴァン企画(4人)		見学:東中居林町内会(2人)/ちよじの森(10人)/ミネハハ事務所(6人)
4/10	見学:いちいの会(3人)	6/3	縄文土器作り・見学:新郷村立戸来小学校6年(12人)
4/17	縄文の布を編む・見学:田代中学校1・2・3年(16人)	6/4	講義:八戸工業大学第二高等学校2年(44人)於同学校 講師:当館学芸員
4/18	見学:妙寿会(9人)/八戸市観光課(4人)		見学:東北町陶芸クラブ(12人)/在宅ケアセンターちよじの森(10人)
4/19	縄文の布を編む教室(7人) 火起こし・見学:きくよスクール(14人)	6/6	ボランティア養成講座②(19人)講師:当館学芸員
4/20	見学:南部町立福地中学校(3人)	6/7	来館者10万人達成 ボランティア養成講座③(19人)講師:当館学芸員
4/23	滑石の勾玉作り・見学:階上町立赤保内小学校6年(45人)		企画展ギャラリートーク(30人) 見学:ちよじの森(12人)
	見学:クラブツーリズム東京(13人)	6/10	見学:弘前市社会教育指導員(11人)/六戸町教育委員会(46人)/ ポストタクシー株式会社(2人)
4/24	視察:(公財)北海道埋蔵文化財センター(1人) 見学:市野沢小学校6年(17人)	6/11	見学:縄文阿久友の会(20人)
4/25	縄文是川ボランティア激励セミナー(42人) 見学:八戸駅職員(6人)	6/13	ボランティア養成講座④(15人)講師:当館学芸員
	企画展「掘りdayはちのへ」内覧会:報道関係・ボランティア(16人)		見学:自転車組(20人)/青森県立百石高等学校2年(163人)/ 南部町ゆうゆうクラブ有谷(24人)/ケアセンターちよじの森(8人)/ 八戸工業大学第二高等学校2年(44人)
4/26	企画展「掘りdayはちのへ」開催(~6/23) 縄文土器野焼き:於分館(18人)	6/14	縄文土器作り教室(18人)
	滑石の勾玉作り・見学:サポートセンターあさひ(22人)		ボランティア養成講座⑤・⑥(36人)講師:当館学芸員・ボランティア
	視察:北海道文化・スポーツ課縄文世界遺産推進室(1人)	6/17	見学:ちよじの森(10人)/(-社)茨城県経営者協会(7人)
4/27	縄文土器作り:沢里二ツ家老人クラブ・ほのほのクラブ(28人)於二ツ家集会場	6/19	講話:浜通り高齢者教室(60人)於鮫公民館 講師:館長
4/28	縄文土器作り・見学:旭ヶ丘小学校6年(63人)		見学:第一養護学校小学部6年(4人)/在宅ケアセンターちよじの森(9人)
4/29	取材:NHK八戸支局(1人) 見学:青森県県民生活文化課(1人)	6/20	見学:在宅ケアセンターちよじの森(14人)
5/1	縄文土器作り・見学:五戸町立倉石小学校6年(23人)	6/21	ボランティア養成講座⑦(13人)講師:当館学芸員・縄文是川ボランティア
	滑石の勾玉作り・見学:白銀南小学校6年(86人) 見学:文化タクシー(1人)		考古学講座⑧(71人)講師:スチュアート ヘンリ氏 見学:読書普及協会(24人)
5/2	縄文土器作り・見学:吹上小学校6年(88人)	6/22	見学:松園サークル(6人)
5/8	琥珀の勾玉作り・見学:個人(3人) 縄文土器作り・見学:個人(3人)	6/24	取材:株式会社淡交社(3人)
	見学:福岡醤油(8人)/八戸市まちづくり文化推進室(12人)		見学:マリアンハウス幼稚園(55人)/東北観光推進機構(13人)
5/9	縄文土器作り・見学:中居林小学校6年(63人)	6/25	ボランティア養成講座⑨:(10人)講師:当館学芸員 見学:東北宮田会(13人)
	見学:ひまわりふれあいサロン(25人)/在宅ケアセンターちよじの森(11人)	6/26	見学:十和田市老人クラブ(20人)/在宅ケアセンターちよじの森(10人)
5/10	シカの角でペンダント作り教室(5人) 縄文土器作り・見学:個人(1人)	6/27	ボランティア養成講座⑩(20人)引率:当館学芸員
	企画展ギャラリートーク(30人)	6/28	ボランティア養成講座⑪(18人)講師:当館学芸員縄文是川ボランティア
5/13	見学:在宅ケアセンターちよじの森(10人)		見学:グループホーム妙寿苑(36人)/在宅ケアセンターちよじの森(12人)
5/15	縄文土器作り・見学:三沢市ソラーズ小学校教師(4人)	6/29	見学:十和田市老人クラブ(24人)/花巻太陽の子保育園(6人)
	取材:株式会社八戸テレビ(1人) 打合:青森県立八戸北高等学校SSH(5人)	7/1	取材:イワダテフォトスタジオ(1人)
5/16	滑石の勾玉作り・見学:南部町立福地中学校1年(54人)/フェリーチェ(7人)		見学:江陽小学校6年(54人)/グループホームぬくもり(15人)
	取材:岩手日報(1人) 視察:青森県地域活力振興課(5人)	7/2	見学:野辺地町民生児童協議会(32人)/階上町立石鉢小学校6年(69人)/ 八戸第二養護学校中学部(2人)/八戸市議会事務局(12人)
	見学:在宅ケアセンターちよじの森(10人)	7/4	ボランティア養成講座⑫(22人)講師:当館学芸員
5/17	考古学講座⑬(47人)講師:渡部裕氏		見学:是川児童館母親クラブ(7人)
	見学:鷗盟大学(10人)/山辺町郷土史研究会(20人)	7/5	合掌土器作り教室(8人)
5/20	視察:八戸市教育指導課(4人)/七戸町教育委員会(3人)		ボランティア養成講座⑬(14人)講師:当館学芸員・縄文是川ボランティア
	見学:ちよじの森(10人) 南部町立福田小学校5年親子レク下見(2人)		取材:青森県立八戸東高等学校1年(2人) 見学:長者コミュニティPTA(47人)
5/22	見学:株式会社観光販売システムズ(23人)	7/6	見学:仙台高等専門学校(38人)・のしろ松山周辺歴史ガイドの会(3人)
5/23	合掌土器作り・講話:八戸市総合教育センター初任者研修(24人)	7/7	縄文土器作り:是川小学校6年(46人)/是川東小学校6年(3人)
	講師:当館館長 於総合教育センター	7/8	グッジョブウィーク:大館中学校2年(3人) 視察:千葉県千葉市議会(10人)
5/24	縄文土器野焼き:於分館(19人)	7/9	グッジョブウィーク:大館中学校2年(3人) 取材:デーリー東北新聞社(3人)
	見学:三八五流通株式会社(20人)/三条仲良しクラブ(4人)		見学:公益財団法人青森県観光連盟(2人)
5/25	見学:書朋会(14人)	7/10	グッジョブウィーク:大館中学校2年(3人)
5/27	ボランティア学習会(合掌土器作り):縄文是川ボランティア(8人)		見学:南部町立名川南小学校5・6年(10人)
5/28	滑石の勾玉作り・見学:野ばら町内女性部(20人)	7/11	火起こし・見学:高館幼稚園(99人)
	講話:ふるさと味倶楽部(13人) 講師:当館館長		縄文土器作り:城下2丁目あすなろ会(17人)於城下公民館
5/29	ミニ合掌土器作り・見学:南部町立剣吉小学校6年(26人)		視察:岩手県生涯学習文化課(4人) 見学:(株)ゼンリン(10人)
	縄文土器作り:ちよじの森(8人)於白山台公民館	7/12	考古学講座⑭(53人)講師:佐藤宏之氏
	視察:花巻市博物館(3人)		視察:東京芸術大学漆芸研究室(4人)
	見学:クラブツーリズム(15人)在宅ケアセンターちよじの森(10人)		
5/30	縄文土器作り・見学:三沢市連合婦人会(23人)		
	講話・見学:鷗盟大学(14人)講師:当館館長		
	視察:文化庁美術学芸課(2人) 見学:三沢市おおぞら小学校6年(11人)		
5/31	ボランティア養成講座⑮(13人)講師:当館学芸員		

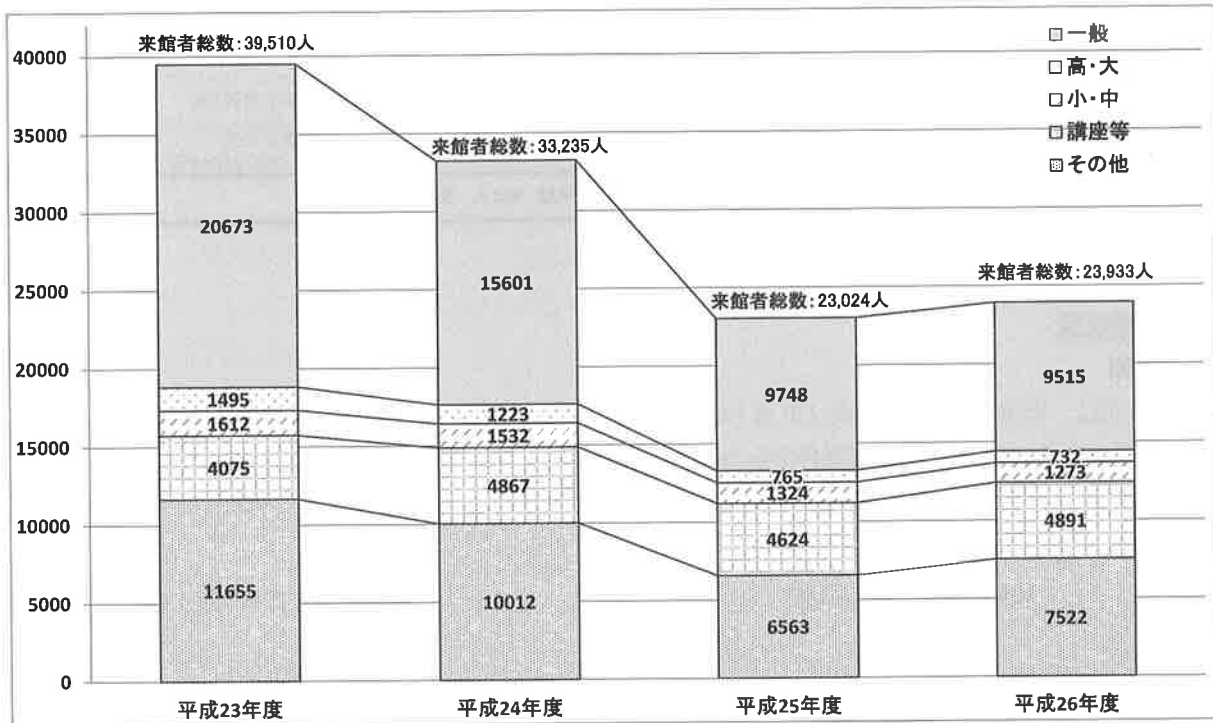
年/月/日	事項	年/月/日	事項
7/15	視察: 八戸圏域水道企業団(2人)	8/30	特別展ギャラリートーク(51人) 講師: 齋藤玲子氏
7/16	講義: 平成26年度生涯学習・社会教育関係職員研修講座(25人) 於青森県総合社会教育センター講師: 当館学芸員 見学: 二戸市立中央公民館(26人)/七戸町寿大学(29人)		特別展考古学講座(68人) 講師: 齋藤玲子氏 見学: のしろ檜山集権歴史ガイドの会(21人)
7/17	火起こし・見学: 第二養護学校中学部2年(20人) 取材: 日本経済新聞社(1人) 見学: 梁川文化振興部(11人)	8/31	視察: 東京理科大学教授グリーン&セーフティ研究センター(3人)
7/18	火起こし・見学: わらび苑(16人) 見学: 青森オープンカレッジ(48人)	9/1	見学: NPO法人西沼田サポーターズネットワーク(20人)
7/19	縄文土器作り・土製耳飾り・滑石勾玉作り・見学: 東中居林町内会(20人) 取材: 株式会社サンブラッソ・エイティープイ(2人)	9/4	縄文土器作り・見学: 是川小学校5年(39人)
7/21	視察: 東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室(1人)	9/5	取材: 青森県立八戸東高等学校(3人) 見学: 北銀ふるさと大学(23人)
7/23	ペンダント作り・見学: 三条なかよレクラブ(54人) ペンダント作り・講話: 於白銀児童館(40人) 講師: 当館学芸員 講話: ふるさとの味倶楽部(10人) 講師: 当館館長 視察: 青森県議会事務局(14人) 見学: 五戸町赤十字奉仕団(33人)	9/6	滑石勾玉作り・見学: 五戸町立五戸小学校6年(76人) 見学: 小坂技研(5人)
7/24	縄文土器作り・見学: 東北町立上北小学校PTA研修委員会(35人) 見学: 新郷村教育委員会(28人)	9/9	縄文の布を編む講座(6人) 講師: 当館学芸員・縄文是川ボランティア 取材: 函館新聞社(1人) 見学: 第二のぞみ園(32人)
7/25	縄文土器野焼き(20人) 於分館 見学: 三八城クラブ(28人)	9/9	見学: 三ツ矢交通株式会社(1人)
7/26	見学: 系統プロイラー荷受協議会(2人)	9/10	滑石勾玉作り・見学: 多賀小学校6年(23人)/轟木小学校6年(17人) 見学: 大正大学文学部教授(1人)/(株)びゅうトラベルサービス(20人)
7/29	琥珀勾玉作り・見学: 七戸町教育委員会(15人) 見学: 大館公民館市民学校(17人)	9/11	見学: じゃっこの会(21人)
7/30	火起こし・滑石の勾玉作り・見学: 五戸町立切谷内子ども会(33人) 視察: 八幡市産業振興株式会社(3人) 見学: 根城小学校(4人)	9/12	講話・見学: 鶴盟大学1年(54人) 講師: 当館館長 見学: 新井田小学校6年(119人)
7/31	特別展「トーマスポールの人びと」内覧会: 報道関係・ボランティア(24人) 常設展「最新研究報告」内覧会: ボランティア(18人) 視察: 山形県舟形町教育委員会(1人)	9/13	見学: 若竹退職女性教職員の会(12人)/八戸市水産科学館(31人)
8/1	視察: 八戸圏域水道企業団(3人)	9/14	見学: 三八五交通株式会社(1人)
8/2	視察: 八戸市議会議員(3人) 取材: 株式会社東奥日報社(1人) 見学: 南海辰村建設(株)(3人)/JA+和田おいらせ七戸支店(21人)	9/18	ペンダント作り: 是川小学校1年(35人)
8/3	視察: 八戸市教育指導課(38人) 滑石勾玉作り・見学: 札幌ジャンプスポーツ少年団(15人)	9/19	縄文土器作り: 是川小学校3年(39人)/是川東小学校3・5年(4人)
8/4	視察: 八戸市議会事務局(4人) 見学: 神奈川県藤沢市商工会議所(10人)	9/19	視察: ジョルダン(株)青森支店(2人) 見学: 五戸高校PTA三八地区(86人)
8/5	取材: 八戸テレビ放送(3人)/八戸青年会議所(2人) 視察: 山形県舟形町教育委員会(1人)/岩手大学考古学研究室(1人)	9/20	シカの角で釣針作り教室(3人) 見学: 立命館大学考古学研究会(14人)/西洋軽土改良区職員(18人)
8/6	見学: 三八五交通株式会社(3人)/青森県立七戸高等学校教員(1人)	9/20	取材: 青森県地域活力振興課(4人)
8/8	ボランティア学習会: 縄文是川ボランティア(13人)	9/25	縄文土器作り: 是川小学校2年(48人)/是川東小学校1・2年(3人)
8/9	実習: 八戸市博物館博物館実習生(5人)		縄文土器作り・見学: 是川小学校4年(32人)/是川東小学校4年(2人) 見学: はりた若葉老人クラブ・林前老人クラブ(31人)/ ペアーレ大仙歴史探訪(25人)
8/10	これかわ考古学クラブ⑥(2人) 講師: 当館学芸員・縄文是川ボランティア 滑石勾玉作り・見学: 増子内育成会(23人) 見学: 小原流上十三支部(20人)	9/26	土製耳飾り作り・見学: 根城小学校6年(95人) 見学: 筑波大学教育研究科(22人)
8/12	縄文土器作り・見学: 島守小学校6年親子レク(21人)	9/27	縄文土器野焼き(17人) 於分館 見学: 秋田県鹿角市生涯学習課(39人)
8/13	見学: 株式会社パルサーインターナショナル(7人)	10/1	見学: 東白山台町内会シニアクラブ(11人)
8/15	視察: 八戸市美術館(4人)	10/3	講話: 青森県退職校長会理事会(40人) 於八戸プラザホテル講師: 当館館長 見学: 加曾利貝塚土器研究会(1人)
8/16	縄文土器作り・見学: 個人(2人) 見学: ヒサエ・スタイル株式会社(2人)	10/4	縄文土器作り・見学: 南部町立福田小学校5年親子レク(73人)
8/19	縄文土器野焼き(17人) 於分館 見学: 胆沢城跡地権者会(24人)	10/5	講話: 南部学研究会(299人) 於南部町楽々ホール 講師: 当館学芸員 視察: 一般財団法人日本国際協力センター東北支所(2人)
8/20	縄文土器作り: 糠塚老人クラブ百働会(15人) 於糠塚出張所 火起こし: 是川小学校6年(3人) 見学: 柏崎小学校教員(3人)	10/6	視察: 八戸圏域水道企業団(3人)
8/21	滑石勾玉作り・火起こし・見学: 個人(2人) 視察: 函館市縄文文化交流センター(5人) 見学: 板柳商工会(20人)	10/7	見学: 秋田県鹿角市教職員退職会(20人)
8/22	見学: 青葉実践塾(7人)/五戸町民大学講座(18人)	10/8	縄文土器作り・見学: 三沢市ソラース小学校6年(27人) 視察: 八戸市財政課(5人) 見学: 国南保育園(32人)
8/23	滑石勾玉作り・見学: 南部町立福地小学校6年親子レク(47人)	10/9	視察: 八戸圏域水道企業団(12人) 見学: 八戸タクシー(1人) 縄文土器作り・見学: 三沢市ソラース小学校6年(30人)
8/24	第19回は川縄文まつり: 於分館	10/10	ミニ合掌土器作り・見学: 洋野町立中野小学校4年(19人) 火起こし・見学: 下長中学校1年(51人) 秋季企画展「海と火山と縄文人」内覧会: 報道関係・ボランティア(25人)
8/26	見学: 園生会(13人)/八戸学院光星高等学校(2人)	10/11	縄文土器作り講座①(14人) 講師: 当館学芸員・縄文是川ボランティア 取材: 毎日新聞(1人) 見学: 御所野遺跡ボランティア連絡協議会(27人)
8/27	講話: ふるさとの味倶楽部(11人) 講師: 当館館長 見学: 東風の会(13人)/クラブツーリズム(15人)/秋北バス(株)(1人)/ 五戸町民大学講座(36人)/三八五バス(株)(1人)/ (株)びゅうトラベルサービス(28人)	10/12	講話: 南郷フォトレンギングガイド(20人) 於南郷区島守
8/28	視察: 公益社団法人青森県観光連盟(8人)	10/13	縄文土器作り・見学: 個人(3人) 取材: BeFM(1人) 見学: 三八五交通株式会社(1人)
8/29	視察: 八戸圏域水道企業団(2人) 見学: 青森県立七戸高等学校(8人)/ 八戸第一養護学校高等部(16人)/八戸観光コンベンション協会(20人)	10/15	取材: NHK八戸支局(1人) 見学: (一社)青森県配合飼料価格安定基金協会(8人)
		10/16	縄文土器作り・見学: 三沢市ソラース小学校6年(33人) 取材: 八戸テレビ放送(2人) 視察: 国分寺市議会議員(2人)
		10/17	一王寺(1)遺跡見学: ボランティア(17人) 田面木遺跡現地見学会(55人)
		10/18	縄文土器作り講座②(11人) 講師: 当館学芸員・縄文是川ボランティア 一王寺(1)遺跡現地説明会(73人)

年/月/日	事項	年/月/日	事項
10/21	取材:青森放送(1人)	12/20	講話:北の縄文世界(140人)於:札幌市中央図書館 講師:当館学芸員
10/22	講話・見学:八戸自由大学(5人)講師:当館学芸員 見学:八幡平市博物館友の会(17人)	12/21	講話:公開研究会「八戸の集落一万年vol.2」(65人)講師:当館学芸員 見学:株式会社日本旅行(9人)
10/24	取材:青森県観光国際戦略局まるごとあおり情報発信チーム(1人)	12/25	ボランティア学習会(24人)講師:杉山武氏
10/25	トチの実を食べる教室(24人)於:分館 講師:当館学芸員・ボランティア	H27/1/10	滑石でペンダント作り教室(10人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア 考古学講座⑤(51人)講師:佐川正敏氏 取材:日本放送協会(1人)
10/26	見学:二戸市婦人会(24人)/泉町町内会(26人)	1/12	視察:国士館大学イラク古文文化研究所(1人)
10/28	縄文土器作り:多賀台小学校6年親子レク(51人)於:多賀台小学校	1/14	視察:洋野町教育委員会(9人)
10/29	講話:ふるさとの味倶楽部(9人)講師:当館館長 取材:(株)プレスアート(1人)	1/17	ボランティア養成講座①(19人)講師:当館学芸員
10/30	縄文土器野焼き(18人)於分館 講話:ひらないかレッジ(65人)於:世増ダム 講師:館長 見学:ロマン会(6人) 國學院大學74期会(22人)/第二養護学校高等部1年(9人)	1/24	ボランティア学習会:縄文は川ボランティア(22人)講師:当館館長 ボランティア養成講座②(21人)講師:当館学芸員
10/31	講話:ひらないかレッジ(65人)於:世増ダム 講師:館長 見学:北三陸ジオパーク推進連絡会(26人)	1/27	見学:寺澤タクシー(1人)
11/1	縄文土器作り:個人(6人) 見学:上切田松葉会(16人)	1/29	見学:ぐんま史跡維持支援団(1人)
11/6	取材:株式会社プレスアート(2人) 見学:ファイブスカイ(15人)	1/30	取材:八戸市観光課(5人)
11/7	視察:岐阜県大野町議会(14人) 見学:柏崎小学校6年(107人)/青森県立八戸豊学校6年(3人)	1/31	ボランティア養成講座③(20人)講師:当館学芸員
11/8	秋季企画展ギャラリートーク(49人)講師:辻誠一郎氏 企画展考古学講座(116人)講師:辻誠一郎氏	2/1	視察:東北大学埋蔵文化財調査室(13人)
11/9	縄文土器作り・滑石の勾玉作り・見学:有限会社阿部悦三商店(26人) 火起こし・見学:吹上おやじの会(17人)	2/3	視察:北部地区町村議会(6人)
11/11	ペンダント作り・見学:城下小学校6年親子レク(102人) 見学:西園小学校6年(21人)/デイサービスセンター湖楽園(14人)	2/4	講話・視察:全国労働保険事務組合連合会青森支部(14人)講師:当館館長
11/12	見学:久慈ユネスコ協会(24人)/デイサービスセンター湖楽園(17人)/ 俊公園(10人)/KNT青森(4人)	2/6	視察:運営協議会委員(1人)
11/13	見学:デイサービスセンター湖楽園(14人)	2/7	ボランティア養成講座④(30人)講師:当館学芸員 考古学講座⑥(55人)講師:梶原洋氏 視察:新潟県立看護大学(1人)
11/14	テラコッタ野焼き(167人)於是川中学校 講師:当館学芸員・ボランティア 見学:町畑小学校5年(7人)/寿泉山家(22人)	2/8	見学:八戸市まちづくり文化推進室(6人)
11/15	平成26年度遺跡調査報告会(80人)講師:当館学芸員 見学:東京三八五流通株式会社(5人)/八太郎山療護園(7人)	2/10	取材:株式会社東奥日報社(1人)
11/16	見学:七戸町立天間東小学校PTA(20人)/函館地区事務長会(8人)/ 十和田ふるさとガイドネットワーク(22人)/八戸観光コンベンション協会(34人)	2/11	ボランティア学習会:縄文は川ボランティア(11人) 見学:サポートセンターあさひ(12人)
11/18	火起こし・勾玉作り:町畑小学校6年親子レク(75人)於:町畑小学校 見学:階上町立小舟渡小学校6年(10人)	2/14	ボランティア学習会:縄文は川ボランティア(30人) ボランティア養成講座⑤(30人)講師:栗村知弘氏
11/20	見学:五戸町立上市川小学校6年(34人)/吹上小学校5年(24人)/ 白鷗小学校4年(55人)/新影(6人)	2/15	かがり火えんぶり点火式火起こし練習:江陽小学校6年(3人)
11/22	縄文土器作り講座③(22人)講師:当館学芸員 縄文土器野焼き(21人)於分館 見学:八太郎山療護園(11人)	2/17	かがり火えんぶり点火式(3人)於:市庁前広場 見学:(株)西日本新聞旅行(13人)/八戸市産業振興課(4人)
11/23	八戸市総合健診センター(3人)	2/19	視察:八戸市社会教育課(3人)
11/24	講話:はっち市「まなび舎」(30人)於:ポータルミュージアム 講師:当館学芸員	2/20	見学:八戸圏域水道企業団(13人)/八戸港協議会(4人)/ 高館小学校5年(14人)
11/26	講話:ふるさとの味倶楽部(13人)講師:当館館長	2/21	縄文土器作り教室(10人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア ボランティア養成講座⑥(24人)講師:当館学芸員
11/27	見学:手越寺(24人)	2/24	見学:東北町役場総務課(18人)
11/28	見学:株式会社日本旅行(30人)	2/27	視察:八戸市観光課(5人)
11/29	ドングリを食べる教室(26人)於分館 講師:当館学芸員・ボランティア 見学:鹿角市八幡平小中学校PTA(33人)	2/28	ボランティア養成講座⑦(17人)講師:当館学芸員・ボランティア
11/30	滑石の勾玉作り・見学:八戸学院野辺地西高等学校PTA(17人)	3/1	講話:根城ボランティア学習会(24人)於:八戸市博物館 講師:当館学芸員
12/2	火起こし・見学:桔梗野小学校5年(13人)	3/2	火起こし・縄文土器作り・見学:松館小学校1・2・5・6年(10人)
12/3	見学:八戸赤十字病院(6人)	3/5	見学:岩手県米町教育委員会(5人)
12/4	見学:根岸小学校6年(77人)/八戸工業高等専門学校2年(165人)	3/7	ボランティア養成講座⑧(10人)講師:後村弘樹氏
12/6	考古学講座④(33人)講師:根岸洋氏 講話:平成26年度種差海岸ガイド研修会於:南浜公民館(40人)講師:館長	3/8	見学:熊野神社(31人)
12/9	滑石の勾玉作り・見学:個人(2人)	3/10	見学:八戸商工会議所(25人)
12/11	見学:日本国際協力センター(26人)	3/11	見学:俊公園(9人)
12/13	滑石の勾玉作り・見学:きくよしスクール(18人) 発表:平成26年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会(208人) 於青森県総合社会福祉センター 発表者:当館学芸員	3/14	縄文土器作り教室(13人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア ボランティア養成講座⑨(16人)講師:後村弘樹氏
12/17	視察:青森県立三沢航空科学館(2人)	3/15	見学:鯨観光協会(11人)
12/20	縄文土器の拓本教室(8人)講師:当館学芸員 見学:みゆき会(21人)	3/19	縄文土器作り・見学:三沢市カミングス幼稚園(43人) 視察:八戸ポータルミュージアム(3人)
		3/20	視察:青森県文化財保護課(4人) 見学:全国陸上競技愛好会(33人)
		3/21	ボランティア養成講座⑩(14人)講師:当館学芸員・縄文は川ボランティア
		3/24	ペンダント作り・見学:三沢市ソラーズ小学校1年(70人) 見学:グループホームほおずき(5人)
		3/25	縄文土器野焼き(19人)於分館 見学:八戸調理職業訓練協会(20人)
		3/26	ペンダント作り・見学:三沢市ソラーズ小学校1年(71人)
		3/27	ボランティア養成講座⑪(23人)引率:当館学芸員
		3/28	ボランティア養成講座⑫(25人)講師:当館学芸員

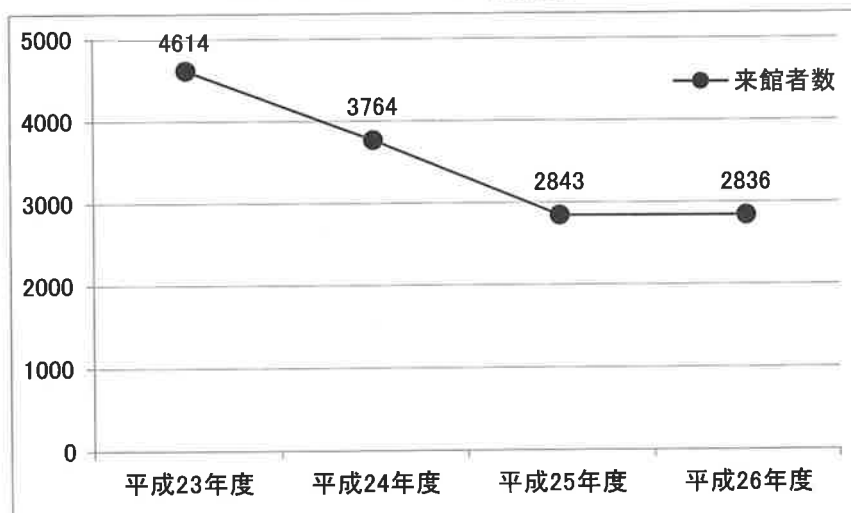
### 3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本館 入館者 総計	開館 日数	平均 入館者	分館 入館者 総計	総計
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計								
4月	536	9	47	592	0	0	42	42	22	19	73	0	114	748	303	327	1,378	28	49	100	1,478
5月	941	33	75	1,049	110	29	116	255	20	9	186	8	223	1,527	427	455	2,409	27	89	165	2,574
6月	696	9	24	729	214	195	71	480	4	2	144	2	152	1,361	328	396	2,085	26	80	127	2,212
7月	680	8	51	739	251	75	109	435	12	9	94	1	116	1,290	541	465	2,296	28	82	143	2,439
8月	1,512	91	230	1,833	198	0	39	237	22	21	110	12	165	2,235	1,652	753	4,640	28	166	1,150	5,790
9月	669	29	26	724	271	22	79	372	31	14	108	4	157	1,253	954	403	2,610	25	104	425	3,035
10月	855	4	38	897	190	0	107	297	29	21	138	5	193	1,387	289	308	1,984	28	71	197	2,181
11月	765	18	37	820	272	0	41	313	57	20	91	2	170	1,303	904	441	2,648	26	102	180	2,828
12月	149	4	3	156	21	161	0	182	0	0	14	1	15	353	173	248	774	21	37	84	858
1月	248	3	14	265	0	0	0	0	7	4	23	1	35	300	85	271	656	24	27	20	676
2月	309	7	6	322	0	0	0	0	12	8	25	4	49	371	216	534	1,121	24	47	33	1,154
3月	479	35	23	537	149	0	95	244	12	8	32	1	53	834	208	290	1,332	27	49	212	1,544
計	7,839	250	574	8,663	1,676	482	699	2,857	228	135	1,038	41	1,442	12,962	6,080	4,891	23,933	312	77	2,836	26,769

本館における過去4年間の来館者数の推移



分館における過去4年間の来館者数の推移





4. 八戸市内小中学校利用状況 ※見学はすべて免除入館、人数は児童数のみ記載

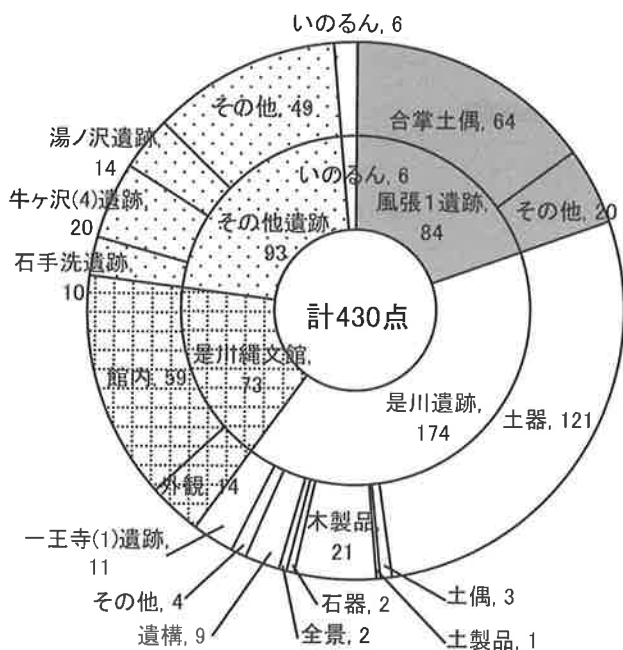
日付	学校名	種別	人数	日付	学校名	種別	人数	日付	学校名	種別	人数
4/17	田代中学校全学年	見学・体験	10人	8/12	島守小学校6年 親子レク	見学・体験	8人	10/10	下長中学校1年	見学・体験	7人
4/24	市野沢小学校6年	見学	15人	9/4	是川小学校5年	見学・体験	38人	10/28	多賀台小学校6年 親子レク:出前	体験	51人
4/28	旭ヶ丘小学校6年	見学・体験	60人	9/10	多賀小学校6年	見学・体験	22人	11/7	柏崎小学校6年	見学	101人
5/1	白銀南小学校6年	見学・体験	81人	9/10	森木小学校6年	見学・体験	14人	11/7	八戸聾学校6年	見学	2人
5/2	吹上小学校6年	見学・体験	83人	9/12	新井田小学校6年	見学	114人	11/11	城下小学校6年 親子レク	見学・体験	51人
5/9	中居林小学校6年	体験	61人	9/18	是川小学校1年	体験	33人	11/11	西園小学校6年	見学	18人
6/19	第一養護学校6年	見学	2人	9/19	是川小学校3年	体験	38人	11/14	町畑小学校5年	見学	6人
7/1	江陽小学校6年	見学	51人	9/19	是川東小学校3・5年	体験	3人	11/14	是川中学校全学 年ほか:出前	体験	167人
7/7	是川小学校6年	見学・体験	46人	9/25	是川小学校2年	体験	44人	11/20	吹上小学校5年	見学	23人
7/7	是川東小学校1・2年	見学・体験	2人	9/25	是川東小学校1・2年	体験	2人	11/20	白鷗小学校4年	見学	53人
7/8	大館中学校2年	グッジョブ	3人	9/25	是川小学校4年	見学・体験	30人	12/2	桔梗野小学校5年	見学・体験	11人
7/9	大館中学校2年	グッジョブ	3人	9/25	是川東小学校3年	見学・体験	1人	12/4	根岸小学校6年	見学	75人
7/10	大館中学校2年	グッジョブ	3人	9/26	根城小学校6年	見学・体験	91人	2/20	高館小学校5年	見学	12人
7/17	第二養護学校 中学部2年	見学・体験	12人	10/10	中野小学校4年	体験	17人	3/2	松館小学校 1年・2年・5年・6年	見学・体験	7人
計31校 1,471人 ※見学:1,046人 体験:990人 見学・体験:574人											

5. 資料利用状況

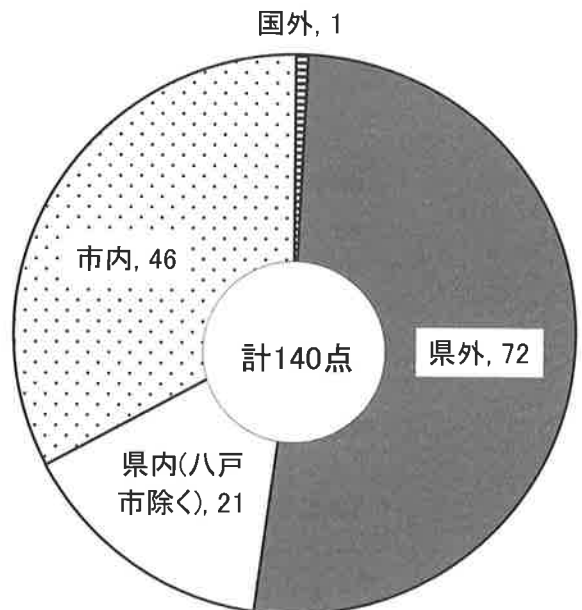
(1) 映像資料

平成26年度は、申請数140件、合計430点の映像資料の使用申請があった。前年に比べて申請件数は横ばいであるものの、点数は倍増している。申請は県外からの依頼が半数以上を占めるが、国外からの申請があり、知名度・注目度の向上が伺える。利用目的では、書籍等への掲載だけでなく、研究論文等への資料利用が増加している。

映像資料利用種別内訳



映像資料利用依頼先内訳



平成26年度映像資料利用依頼一覧

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	赤間印刷工業株式会社	風張1遺跡 類杖土偶	1	写真貸与・掲載	4/8	名刺
2	朝日新聞出版社 生活・文化編集部	是川中居遺跡 木製ヤスほか	2	写真貸与・掲載	4/8	週刊『新発見!日本の歴史 第49号』
3	株式会社アドヴァン企画	体験交流室ほか	2	撮影	4/9	広報誌『げんねん』
4	株式会社創童舎	是川縄文館内	1	写真貸与・掲載	4/10	朝刊『GWおでかけガイド2014』
5	学校法人 河合塾	是川中居遺跡 漆塗り壺形土器	1	転載	4/10	テキスト『私大日本史テスト』
6	株式会社カメラータ・トウキョウ	是川中居遺跡 籐形木製品	1	写真貸与・掲載	4/24	書籍付CD
7	一戸町教育委員会	是川中居遺跡 植物質出土状況	1	写真貸与・掲載	4/24	パネル展
8	伊藤 由美子	是川石器時代遺跡鳥瞰写真	1	転載	4/24	朝刊
9	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議	風張1遺跡 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	4/24	平成26年度版パンフレット
10	八戸市立市野沢小学校	是川縄文館内ほか	2	撮影	4/24	学年通信
11	八戸市立旭ヶ丘小学校	是川縄文館内ほか	2	撮影	4/28	学年だより・学級だより
12	NHK青森八戸支局	企画展示室	1	撮影	4/29	ニュース番組
13	株式会社テレビ信州	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/1	ニュース番組
14	株式会社グランフォート	是川縄文館内ほか	2	撮影	5/1	卒業アルバム
15	帆風美術館	重地遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与・掲載	5/2	特別展『美の断片を愉しむーある視点』
16	有限会社スタジオ大島	是川縄文館内ほか	2	撮影	5/2	卒業アルバム
17	朝日新聞出版社書籍編集部	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/10	文化庁編『発掘された日本列島2014』
18	東奥日報社八戸支社	常設展示室	1	撮影	5/10	日刊紙
19	山河 隆憲	風張1遺跡 類杖土偶	1	撮影	5/10	名刺
20	株式会社八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	5/15	HTVニュース
21	南部町立福地小学校	常設展示室ほか	2	撮影	5/16	校内新聞
22	弘前大学人文学部北日本考古学研究中心	風張1遺跡 アスファルト資料	2	撮影	5/22	資料調査
23	竹市幸恵	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	5/23	パネル展示
24	おいらせ町立百石小学校	常設展示室	1	撮影	6/2	学校だより・卒業アルバム
25	大阪府立弥生文化博物館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/5	ガイドブック・ホームページ
26	安延尚文	是川中居遺跡 樹皮製容器(復元)	1	写真貸与・掲載	6/5	書籍『ネイチャーウォーキングガイド』
27	八戸ポータルミュージアムはっち	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	6/5	広報誌『はちみつvol.17 はちのへぐりおさんぽ旅』
28	株式会社セブンクワイティブ	是川縄文館外観ほか	12	写真貸与・掲載	6/5	書籍『はじめての土偶』
29	高千穂株式会社	是川中居遺跡 漆塗り壺形土器	1	写真貸与・掲載	6/12	刊行物『帝国ニュース九州版』
30	竹田印刷株式会社	是川中居遺跡 漆塗り土器集合	1	写真貸与・掲載	6/17	会員誌『大人の休日クラブ8月号』
31	株式会社アートよみうり	風張1遺跡 合掌土偶ほか	7	写真貸与・掲載	6/17	『日本国宝展』用グッズ制作
32	株式会社交通新聞社西日本支社	常設展示室ほか	2	写真貸与・掲載	6/18	『旅のアトリエ8月号』
33	株式会社びゅうトラベルサービス	風張1遺跡 合掌土偶	2	写真貸与・掲載	6/24	告知用カタログ
34	東京書籍株式会社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/1	中学校社会科教科書『新編新しい社会歴史』
35	第37回青森県ろうあ者大会実行委員会	マスコットキャラクター いのるん	1	写真貸与・掲載	7/1	案内書
36	イワダテフォスタジオ	是川縄文館内	1	撮影	7/1	卒業アルバム
37	にじだて写真	是川縄文館内	1	撮影	7/2	社会科見学撮影
38	八戸市立是川小学校	是川縄文館内ほか	2	撮影	7/7	6学年だより
39	集英社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/9	新書『縄文人からの伝言(仮)』
40	デーリー東北新聞社	是川縄文館内ほか	2	撮影	7/9	グッジョブウィーク新聞製作
41	高館幼稚園	常設展示室	1	撮影	7/11	配布用
42	東京大学大学院人文社会系研究科福田正宏	牛ヶ沢(4)遺跡 縄文土器ほか	20	撮影	7/13	研究
43	株式会社エヌ・ティ・エス	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/16	日能研カリキュラムテスト問題
44	株式会社グレイル	是川中居遺跡 漆塗り櫛ほか	3	写真貸与・掲載	7/17	書籍『マンガと図解でわかる古記事』
45	株式会社サンブラッソ・エーティービー	風張1遺跡 合掌土偶(複製品)	1	撮影	7/19	プレゼンテーション
46	宮古市北上山地民俗資料館	是川中居遺跡 樹皮製容器(復元)	1	写真貸与・掲載	7/23	パネル展・図録
47	宮古市北上山地民俗資料館	是川中居遺跡 種皮小破片ほか	2	写真貸与・掲載	7/23	パネル展
48	有限会社forte八戸支店	是川縄文館外観写真ほか	3	写真貸与・掲載	7/25	ガイドブック
49	株式会社小学館	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/25	雑誌『サライ2014年9月号』
50	東奥日報社八戸支社	一王寺(1)遺跡 骨角製品	1	写真貸与・掲載	7/28	日刊紙
51	青森県企画政策部	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	7/31	青い森鉄道ポスター
52	東奥日報社	企画展示室	1	撮影	8/2	日刊紙
53	土偶の日運営委員会	マスコットキャラクター いのるん	1	写真貸与・掲載	8/2	『どくキャラ総選挙2014』
54	日本経済新聞社大阪編集局	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/4	日刊紙
55	岩手大学教育学部考古学研究室	是川中居遺跡 石斧ほか	5	撮影	8/5	資料調査
56	八戸テレビ放送	企画展示室	1	撮影	8/5	ニュース番組
57	八戸青年会議所	常設展示室	1	撮影	8/5	青年会議所全国大会PRムービー

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
58	鈴木 勇蔵	是川縄文館館内ほか	2	撮影	8/15	youtube
59	PHP研究所	是川中居遺跡 漆塗り櫛ほか	3	写真貸与・掲載	8/20	参考書『縄文人のくらし大研究』
60	オークヴィレッジ株式会社	是川中居遺跡 漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	8/20	付属冊子
61	八戸第一養護学校	是川縄文館館内	1	撮影	8/29	事後学習用
62	株式会社G.B.	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	8/31	書籍週刊『日本の神社35号』
63	株式会社美術出版社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	8/31	『全国国史訪問ガイド』
64	株式会社ムーブ	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/4	るるぶ青森『弘前奥入瀬白神山地'15』
65	青森県立八戸商業高等学校	是川縄文館館内ほか	2	撮影	9/4	課題研究
66	函館新聞社	是川縄文館館内ほか	2	撮影	9/6	日刊紙
67	第35回青森県高等学校総合文化祭 三八・上北大実行委員会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/10	開会式に使用
68	セインズベリー日本藝術研究所	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	9/11	高校教育オンライン英語教材
69	スタジオやまみち	常設展示室	1	撮影	9/12	卒業アルバム
70	ジョルダン株式会社青森支店	是川縄文館館内ほか	2	撮影	9/19	県内観光交通ルート
71	青森県企画政策部地域活力振興課	是川縄文館常設展示室ほか	3	撮影	9/19	旅行雑誌『PAPERSKY』
72	青森県企画政策部地域活力振興課	是川縄文館常設展示室	1	撮影	9/21	旅行雑誌『PAPERSKY』
73	有限会社スタジオ大島	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	9/26	卒業アルバム
74	新潟大学災害・復興科学研究所 齋藤瑞穂	是川中居遺跡 弥生土器ほか	80	撮影	10/1	研究
75	ドゥアンドドゥプランニング有限公司	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/6	小学館発行『小学館の子ども図鑑』
76	株式会社山川出版社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/9	『2014年度歴史能力検定 準3級日本史』
77	八戸商工会議所	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/9	『平成27年版 八戸観光カレンダー9月面』
78	洋野町立中野小学校	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	10/10	学級通信等
79	下長中学校	是川縄文館常設展示室	1	撮影	10/10	文化祭展示
80	毎日新聞社	是川縄文館企画展示室	1	撮影	10/11	日刊紙
81	NHK八戸支局	是川縄文館企画展示室	1	撮影	10/15	ニュース番組
82	株式会社八戸テレビ放送	是川縄文館企画展示室	1	撮影	10/16	ニュース番組
83	八戸工業大学感性デザイン学部 感性デザイン学科	是川中居遺跡 漆塗り土器ほか	2	写真貸与・掲載	10/18	パネル展
84	青森放送	是川縄文館企画展示室	1	撮影	10/21	ニュース番組
85	一般財団法人日本国際協力センター	是川縄文館内	1	撮影	10/21	パンフレット
86	青森県観光国際戦略局	是川縄文館常設展示室	1	撮影	10/24	ブログ
87	株式会社ユニフオトプレス インターナショナル	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/31	中学校美術資料『美術 表現と鑑賞』
88	株式会社光文書院	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	10/31	教科書『社会科資料集』
89	一般社団法人八戸建設業協会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	10/31	年賀状
90	札幌市観光文化局	是川中居遺跡 漆塗り製品ほか	5	写真貸与・掲載	11/3	パネル展
91	(公社)八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	11/5	ホームページ
92	株式会社プレスアート	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	11/6	雑誌
93	イワダフォトスタジオ	是川縄文館内	1	撮影	11/7	卒業アルバム
94	山田スイッチ	是川縄文館常設展示室ほか	2	撮影	11/8	『JOMON FAN』
95	田附 勝	ガラス乾板 1号-2ほか	3	閲覧・撮影	11/12	写真集
96	株式会社ジーズ・コーポレーション	風張1遺跡 合掌土偶出土状況	1	写真貸与・掲載	11/14	NHK・Eテレ『日用美術館 国宝が好き！ 東京国立博物館・日本国史展〜』
97	株式会社プレスアート	是川中居遺跡 漆塗り土器ほか	3	写真貸与・掲載	11/26	雑誌『Kappo カッポ 2015年1月号』
98	株式会社フジテレビジョン	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	11/21	番組『もしもツアーズ』
99	株式会社JMC	是川中居遺跡 石斧	1	写真貸与・掲載	11/26	教科書『社会科資料集6年』
100	株式会社KADOKAWA 角川文芸出版	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/3	書籍『「食いもの」の神語り』
101	株式会社アドプリンター	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/3	年賀状
102	観光課	是川中居遺跡 漆器出土状況	8	写真貸与・掲載	12/3	パンフレット
103	株式会社コム・ケイ・ツー	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	12/4	映画『ライアの祈り』ポスター
104	株式会社JMC	是川中居遺跡 石斧	1	写真貸与・掲載	12/16	教科書『社会科資料集6年』
105	おいらせ町教育委員会	秋季企画展 映像資料	1	映像貸与	12/19	『阿光坊古墳群をまなぼう 講座』
106	八戸市立図書館市史観望室	澤田熊次郎関係書籍ほか	1	写真貸与・掲載	12/26	『新編八戸市史 通史編 I 原始・古代・中世』
107	東北学院大学文学部	田向冷水遺跡 石製石器ほか	2	閲覧・撮影	1/8	学術研究
108	日本放送協会	是川縄文館常設展示室	1	撮影	1/10	ニュース番組
109	株式会社はる工房	風張1遺跡 合掌土偶ほか	9	写真貸与・掲載	1/14	『東北学 05号 特集「縄文の至宝」』
110	株式会社グレイル	是川中居遺跡 土坑墓ほか	2	写真貸与・掲載	1/14	『古墳の地図帳』
111	飯島 義雄	是川中居遺跡出土 縄文土器	21	閲覧・撮影	1/17	研究

番号	申請者	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
112	特定非営利活動法人 函館市埋蔵文化財事業団	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	1/22	ガイドブック
113	青森市教育委員会	滝端遺跡 製塩土器ほか	2	写真貸与・掲載	1/22	パンフレット等
114	弘前市教育委員会	長七谷地貝塚 貝層検出状況ほか	2	写真貸与・掲載	1/30	パネル展
115	東北大学埋蔵文化財調査室	新井田古館遺跡 出土品ほか	54	閲覧・撮影	2/1	研究
116	中嶋俊平	長七谷地貝塚 全景ほか	6	写真貸与・掲載	2/2	卒業論文
117	カズ企画	風張1遺跡 注口土器ほか	3	写真貸与・掲載	2/2	『縄文人と弥生人』
118	MIZEN Fie Art	是川中居遺跡 漆塗り土器ほか	2	写真貸与・掲載	1/29	『Caramique et Verre』
119	株式会社東奥日報社	是川縄文館常設展示室	1	撮影	2/10	日刊紙
120	八戸市立図書館市史編纂室	風張1遺跡 縄文土器ほか	7	写真貸与・掲載	2/14	『新編八戸市史通史編Ⅰ 原始・古代・中世』
121	五所川原市教育委員会	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	2/19	文化財ガイドブック
122	教育出版株式会社	是川中居遺跡 漆塗り注口土器	1	写真貸与・掲載	2/19	中学生社会科教科書
123	NHK出版	風張1遺跡出土 国宝「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	2/25	テレビ番組
124	矢吹 崇	是川縄文館常設展示室	1	撮影	2/28	ブログ
125	公益社団法人八戸青年会議所	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/3	ポスター等
126	(公社)八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡 合掌土偶ほか	2	写真貸与・掲載	3/3	ガイド冊子
127	川口印刷工業株式会社	風張1遺跡 合掌土偶ほか	4	写真貸与・掲載	3/3	『2015年八戸市勢要覧英文ダイジェスト版』
128	株式会社企画集団ぷりずむ	是川縄文館外観ほか	5	写真貸与・掲載	3/11	『縄文あおもり』
129	阿部剛之	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	3/11	詩吟背景
130	株式会社リプロ社	是川縄文館外観写真ほか	3	写真貸与・掲載	3/4	『世界のスカル所蔵ミュージアムを探ねて』
131	秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室	是川中居遺跡 漆器出土状況	2	写真貸与・掲載	3/20	日刊紙
132	池坊八戸支部	是川縄文館常設展示室	1	撮影	3/21	スライド映像
133	株式会社東北タチバナ	マスコットキャラクター いのるん	1	写真貸与・掲載	3/22	菓子容器
134	東奥日報社八戸支社	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/25	日刊紙
135	北海道開拓記念館	風張1遺跡出土 類杖土器ほか	2	写真貸与・掲載	3/26	パネル展
136	株式会社小学館	風張1遺跡 合掌土偶ほか	3	写真貸与・掲載	3/26	書籍『日本美術全集』
137	株式会社Z会	是川中居遺跡 縄文土器ほか	2	写真貸与・掲載	3/26	教科書
138	坂井編集企画事務所	是川中居遺跡 漆塗り土器ほか	4	写真貸与・掲載	3/27	書籍『大地の赤 ベンガラ異空間』
139	ひがし野菓子工房	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与・掲載	3/31	菓子パッケージ
140	観光課	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	3/31	携帯端末向けソフト

## (2) 実物資料

平成 26 年度は申請数9件、合計 132 点の貸出し依頼があった。うち2件が国宝「合掌土偶」の貸出であり、弥生時代資料のまとまった貸出も2件みられた。

### 平成 26 年度資料貸出一覧

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	花巻市博物館	風張1遺跡 合掌土偶（複製品）1点	H26.5.29～10.20	花巻市博物館10周年記念企画展 『人形の歴史-込められた想い-』
2	弘前大学人文学部 北日本考古学 研究センター	是川中居遺跡 漆塗り土器片ほか 51点 風張1遺跡 縄文土器ほか 1点	H26.5.22～10.16	特別研究『冷温帯地域の遺跡資源の 保存活用促進プロジェクト』
3	東京都江戸東京博物館	風張1遺跡 合掌土偶 1点	H26.7.26～9.15	企画展『発掘された日本列島展2014』
4	八戸市博物館	是川中居遺跡 弥生土器 1点 是川中居遺跡 管玉 10点 八戸城跡 土偶様蓋形土器 1点 是川中居遺跡 弥生土器 1点	H26.7.31～H27.3.31 H26.12.16～H27.3.31	常設展示
5	岩手大学教育学部 考古学研究室	是川中居遺跡 磨製石斧 2点 田向冷水遺跡 磨製石斧 3点	H26.8.29～H27.3.31	磨製石斧の流通構造の把握を目的とした 非破壊による蛍光X線分析
6	東京国立博物館	風張1遺跡 合掌土偶 1点	H26.9.26～12.14	特別展『日本国宝展-信ずるかたち-』

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
7	弘前大学人文学部 北日本考古学研究 センター	是川堀田遺跡 弥生土器ほか 30点	H26.9.17～12.5	企画展『東北の弥生化－縄文時代が変わる時－』
8	縄文遺跡群世界遺産 登録推進本部	是川中居遺跡 縄文土器ほか 22点	H26.10.22～10.24	縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム
9	八戸市博物館	市子林遺跡 不明土製品ほか 2点	H26.12.16～H27.1.23	新春ミニ企画展『えと展－博物館の動物たち大集合』

## 6. 資料収蔵

是川縄文館では、遺跡出土品及び関連図書の収集及び収蔵を継続的に実施している。

遺跡出土品については、平成26年度遺跡発掘調査において出土し整理作業が終了した出土品遺物収納箱158箱、個人寄贈品3箱を新たに収蔵した。収蔵状況は、特別収蔵庫：約700点（国指定重要文化財、木製品・金属製品等）・一般収蔵庫：約2,470箱（土器・石器・土製品等）である。

図書については、考古学分野を中心に約47,815冊を収蔵している。図書は書庫に収蔵するほか、閲覧コーナーにおいて一般開放している。平成26年度は約731冊（寄贈668、購入63）を新たに追加した。



一般収蔵庫

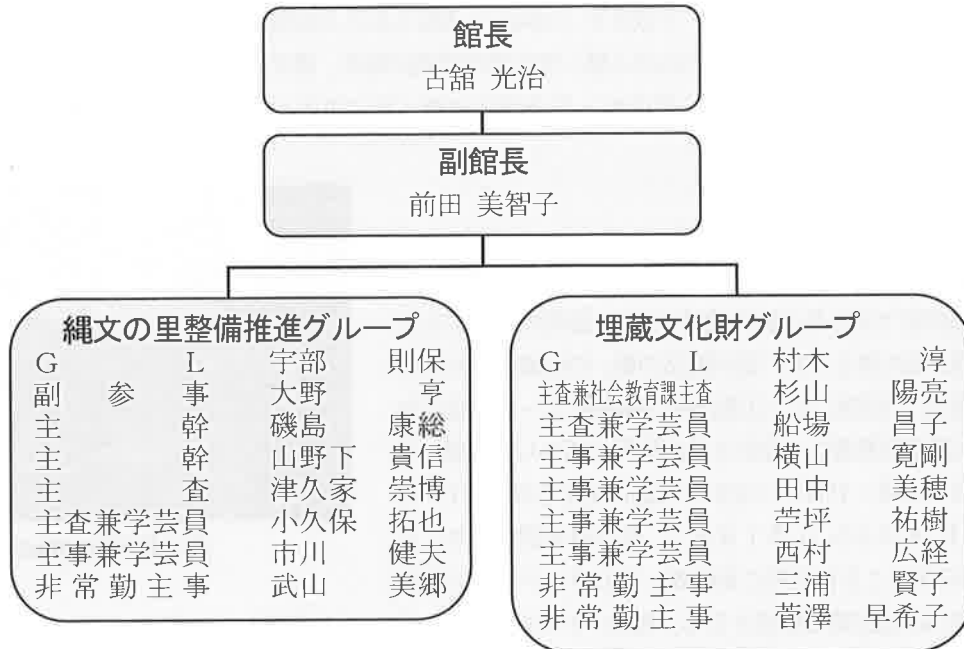
## 7. 予算概要

※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額(円)	備考
運営経費		96,299,000	
《内訳》	教育普及	6,178,000	
	施設維持管理	80,221,000	
	その他	9,900,000	
展示活動経費		26,402,000	
《内訳》	特別展経費	13,311,000	
	企画展経費	13,091,000	
是川縄文の里整備事業費		57,068,000	
発掘調査事業費		79,947,000	
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	43,627,000	
	白蛇遺跡発掘調査事業費	14,708,000	
	熊野堂遺跡発掘調査事業費	13,309,000	補正予算
	根城跡発掘調査事業費	6,203,000	補正予算
	調査管理費	2,100,000	
埋蔵文化財保存活用費		10,620,000	
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	5,263,000	
	是川遺跡出土品保存修理事業費	5,357,000	
合 計		270,336,000	

## VI. 組織・関係団体

### 1. 組織及び職員構成



### 2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成7年 【会員数】149名（法人会員含む）

#### 【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 縄文文化についての研修
- ② 是川縄文館に関連する事業への協力
- ③ 縄文是川ボランティアへの支援
- ④ 縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤ 文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。平成26年度は、8月24日（日）に19回目となる「これかわ縄文まつり」を開催した。各種イベントとともに、国史跡是川石器時代遺跡の一つである一王寺(1)遺跡の発掘調査現場の現地説明会を行い、参加者から好評を得た。平成26年度は約850人の来場者があった。

また、当協会は、「青森県の縄文遺跡群 世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。



これかわ縄文まつりの様子

### 3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和49年 【会員数】14人

#### 【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動、及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。特に環境整備等の活動では、平成6年(1994)に実施された分館敷地内の復元竪穴住居建築において大きな原動力となった。また、復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。平成24・25年度には復元竪穴住居2棟の修繕を実施し、再整備が終了した。

### 4. 是川縄文隊

【設立年】平成24年 【会員数】9人

#### 【目的・活動】

是川地域住民の宝である是川縄文遺跡の保存・活用に寄与するとともに、是川縄文館を核とした「是川縄文の里」の地域振興を図ることを目的に発足。当団体では、①是川縄文館来館者への地域のPR、②是川縄文館来館者増につながる地域特性を活かした活動、③是川遺跡の保存・活用・PRにつながる活動に関する事業を行う。

平成26年6月14日から11月1日まで、是川縄文館敷地内において、地域振興を図ることを目的に来館者へ周辺ガイドマップを配布したほか、是川産直野菜を販売する等、地域のPR活動を行った(10回開催)。



是川縄文隊の活動の様子

### 5. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】46人

#### 【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①日曜日縄文体験コーナー ②夏休み縄文体験コーナー
- ③冬季日曜日縄文体験コーナー ④土曜日体験教室
- ⑤夏休み考古学教室での体験学習の指導 ⑥グループ・団体の体験学習の指導 ⑦縄文土器野焼き
- ⑧学校・公民館等での体験学習の指導 ⑨是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド ⑩研究・研修・学習会

【活動実績】※体験学習指導の詳細については、Ⅲ-3教育普及の実績、V-2日記抄を参照されたい。



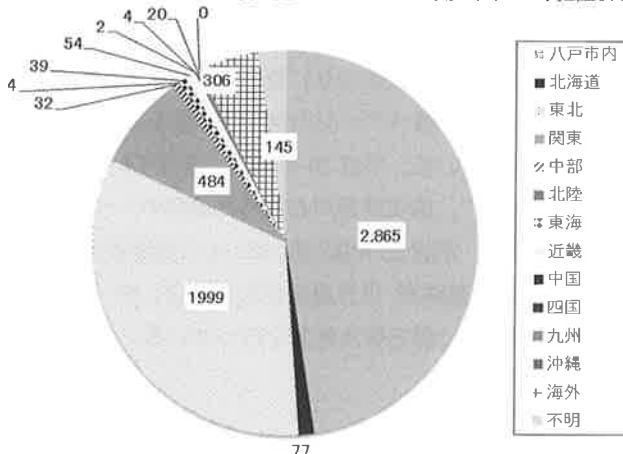
ボランティア養成講座での研修の様子

#### ◆縄文是川ボランティア活動人数

月	開館日数	延人数	一日平均
4月	28日	253人	9人
5月	27日	223人	8人
6月	26日	238人	9人
7月	28日	296人	10人
8月	28日	276人	9人
9月	25日	227人	9人
10月	28日	247人	8人
11月	26日	230人	8人
12月	21日	149人	7人
1月	24日	165人	6人
2月	24日	191人	7人
3月	27日	207人	7人
計	312日	2,702人	8人

#### ◆縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況

※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数



都道府県	人数
八戸市内	2,865
北海道	77
東北	1,999
関東	484
中部	32
北陸	4
東海	39
近畿	54
中国	4
四国	2
九州	20
沖縄	0
海外	306
不明	145
総計	6,031

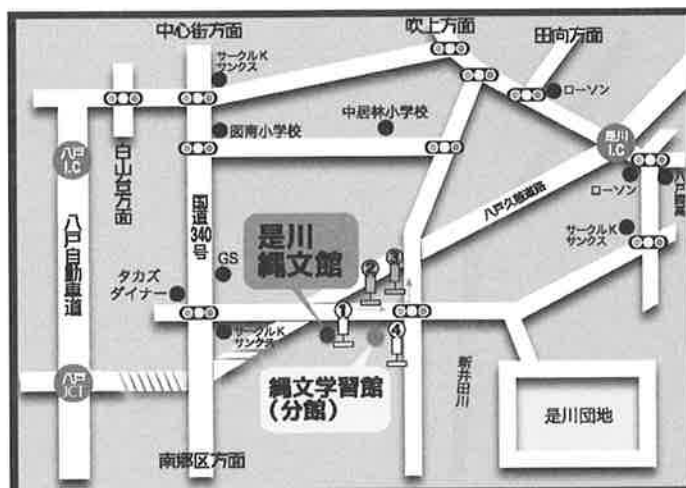
## 利用案内

- ◆開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 毎週月曜日  
(祝日の場合はその翌日)  
年末年始(12月27日～1月4日)

### ◆観覧料

区分	個人	団体
一般	250円	130円
大学生・高校生	150円	80円
中学生・小学生	50円	30円

市内の中学生・小学生は無料  
市内65歳以上、障がい者手帳お持ちの方は半額  
特別展は料金が変わります



- ◆交通
- バス：・JR八戸駅から土日祝日のみ南部バスで22分  
・ラピアバスターミナル・中心街から南部バス(J42、J112)で約25分  
・中心街バスターミナル3(中央通)から南部バスるるっぷ(左回り)で約20分
- 自動車：八戸自動車道・八戸ICから約10分
- ◆駐車場案内
- 本館 普通車86台 大型バス6台 障がい者用3台  
分館 普通車30台
- ◆所在地
- 本館 青森県八戸市大字是川字横山1 TEL：0178-38-9511  
分館 青森県八戸市大字是川字中居3-1 TEL：0178-96-1484



八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第4号—平成26年度—

発行日 : 2016年1月29日

編集・発行 : 八戸市教育委員会

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1

TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392

印刷 : 中外印刷株式会社

〒031-0044 青森県八戸市廿六町12-1

TEL 0178(44)1447 FAX 0178(43)2848